

狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	特記仕様書(改修その1)	A-16	改修 矩計図
A-02	特記仕様書(改修その2)	A-17	現況 外部階段・2階ボーチ階段詳細図
A-03	特記仕様書(改修その3)	A-18	改修 外部階段・2階ボーチ階段詳細図
A-04	特記仕様書(改修その4)	A-19	天井伏図
A-05	特記仕様書(改修その5)	A-20	建具表1
A-06	特記仕様書(改修その6)	A-21	建具表2
A-07	案内図・配置図	A-22	太陽光設備 取り外し、再取付け参考図
A-08	外部仕上表		
A-09	1階平面図		
A-10	2階平面図		
A-11	3階平面図		
A-12	4・R階平面図		
A-13	改修 立面図1		
A-14	改修 立面図2		
A-15	現況 矩計図		

特記事項



斉藤出建築設計室

一般建築士 第326081号 齋藤出

校印

設計

設計年月日
R.5.12.20

変更年月日

工事名称

狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事

図面名称

表紙・図面リスト

Scale

No.

工 事 名		狹山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事																																																																																																																																																																																										
I 工事概要																																																																																																																																																																																												
1. 工事場所	狹山市立入間野中学校 狹山市大字北入間1028番地1																																																																																																																																																																																											
2. 敷地面積	24,114 m ²																																																																																																																																																																																											
3. 工事種目 (建物概要)	用途 中学校 体育館	構造 鉄筋コンクリート造	階数 地上4階建	延床面積 2,250 m ²																																																																																																																																																																																								
4. 工事内容	中学校体育館（鉄筋コンクリート造1階建て）の改修工事 ・外壁改修工事 ・屋上防水改修 ほか																																																																																																																																																																																											
5. 工 期	契約工期 契 約 日から令和 7年 3月21日まで 共通仮設費率の算定に用いる工期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場施工期間 令和 6年10月 から令和 7年 3月21日まで ただし、仮設工事等は施設との協議による																																																																																																																																																																																											
6. 工事範囲	※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。																																																																																																																																																																																											
工事項目		屋上プール防水 及び外壁等改修工事																																																																																																																																																																																										
2 仮設工事	○																																																																																																																																																																																											
3 防水改修工事	○																																																																																																																																																																																											
4 外壁改修工事	○																																																																																																																																																																																											
-1 コンクリート 打放し 仕上り外壁	○																																																																																																																																																																																											
-2 モルタル塗り 仕上り外壁																																																																																																																																																																																												
-3 タイル張り 仕上り外壁																																																																																																																																																																																												
-4 塗り 仕上り外壁																																																																																																																																																																																												
-5 外壁用遮熱防水塗料																																																																																																																																																																																												
5 建具改修工事	○																																																																																																																																																																																											
6 内装改修工事																																																																																																																																																																																												
7 塗装改修工事	○																																																																																																																																																																																											
8 耐震改修工事																																																																																																																																																																																												
9 環境配慮改修工事																																																																																																																																																																																												
10 鉄筋工事																																																																																																																																																																																												
11 コンクリート 工事																																																																																																																																																																																												
II 建築改修工事仕様																																																																																																																																																																																												
（1）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別 共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 建築工事編（令和4 年版）」 （以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 （建築工事編）（令和4 年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりかたしい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。 （2）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がないければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示 している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について 監督員と協議すること。 （3）本特記仕様書の表記 1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 ○印と※の場合は、○のみを適用する。 3）特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該 図表を示す。 4）特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5）特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 6）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記号は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。 7）本工事において、「環境物品等の調達推進に関する基本方針」（令和4年2月25日変更閣議決定）及び「 埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」 を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。 なお、[G] 印は設計図書で定めのある品目を示す。		章 項 目 特 記 事 項																																																																																																																																																																																										
1 一般共通事項	① 適用基準等 ※埼玉県建築工事実務要綱に記載の要領等 ※建築工事監理設計（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）（令和4 年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりかたしい場合は、監督員と協議し、 適用する基準等を決定する。 ② 条件明示事項 保険の種類 ※法令外の労災保険（工事に従事する者 全ての下請負人を含む）の業務上の負傷等を対象とするもの ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後1 4 日を含む期間 ○ 契約工期の末日までの期間 ③ 工事実施情報の登録 ※行う（請負代金総額500万円以上、10日以内に登録） ・ 行わない [1. 1. 4][1. 1. 8] 4 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力 風速（V ₅₀ ） m/s 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） 積雪荷重 H12.5 31告示第1455号における区域、別表（ ） ・ 大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 ・ 1/200 ・ 1/150 ・ 1/120 ・ ・ 図示（ ） 確認箇所（ ） ⑤ 別契約の関連工事 ※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 [1. 1. 7] ・ 監督員指定の別契約工事が行う 全体調整に全面的に協力する。 6 施工に注意を要する区域等 本工事場所および以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1. 1. 12、13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・ 周知の埋蔵文化財包蔵地 ・ 史跡名勝天然記念物 ⑦ 工事の記録 埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1. 2. 4][1. 6. 6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（D-RX又はD-Rで1 部提出） ・ 適用しない 8 電気保安技術者 適用する [1. 3. 3][1. 3. 1] ⑨ 施工条件 施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・ 以下の期間を除く。現場事務所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（ ） 施工時間以外の施工条件 ・ 図示による ⑩ 施工中の安全確保 本工事の受注者は、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害 を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理職務者）とする。 [1. 3. 7] ⑪ 環境保全等 建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1. 3. 11] ⑫ 発生材の処理等 引渡しを要するもの [1. 3. 12][1. 1. 13] ※無（ ） 注 a）発生材のうち特に引渡しを要するものは、指示された場所に整理 のうえ調査を添えて監督員に報告する b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引渡しを要しないものは、すべて構内へ搬出し、「資源の有効な利用の促 進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下 「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」そ その他関係法令等により適切に処理。監督員に報告する。 13 県産品の使用 受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合に、当該契約の相手方は [1. 4. 2] 埼玉県内二本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する 工事材料は、埼玉県産とするよう努める。 ⑭ 環境への配慮 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び [1. 4. 1][1. 4. 3] 性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、コリア樹脂板、壁紙、接着剤、保 温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルヒド及びヒステレン を含有しない（難燃性を除く）が添加されていない材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない 材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジ-エチルヘキシル 等を含有しない（難燃性を除く））が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、 ホルムアルヒド、アセドアルヒド及びヒステレンを含有しないか、発散が 極めて少ない材料を使用したものとする。 ⑮ 材料の品質等 ※本工事に使用する材料等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上 [1. 4. 2] のものを使用する。ただし、製造業者等が指定されている場合に同等以上 のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の1から6すべての事項を満たすものとし、この証 明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面 を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定した供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※塗材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基 本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の 証明のためのガイドライン」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。 ※検査を受けて使用すべき工事材料は、監督員が指定するものとする。 ⑯ 石綿含有建材の調査 調査 [1. 5. 1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を 行う。 貸与資料（既存図、調査報告書） ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、 クロントライト、トクロモライト 分析方法 <table><thead><tr><th></th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>材料名</td><td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・ 2 仮設工事 ① 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート [2. 1. 3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 ・ ② 足場等 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガ イドラインの別添「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」にお ける20X2 手すり据置き方式又は3 手すり先行専用足場方式により行う。 [2. 2. 1][表2. 2. 1] 外部足場 ○設置する（設置範囲）○図示（ ） ・ 設置しない 防音シート ○設置する（設置範囲）○図示（ ） ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する（※樹立、足場板等）（ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ○E 種） C 種：利用可能なエレベーター（ ・ 図示 ・ ） D 種：利用可能な階段 （ ・ 図示 ・ ） ③ 既存部分の養生 養生の方法（※ビニルシート、合板等）（ ） 既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート 等）（ ） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（・ビニルシート 等）（ ） 保管場所 図示 （ ） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示 ・ 4 仮設間仕切り 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 [2. 3. 2][表2. 3. 1] 仮設間仕切りの種別と材質等 <table><thead><tr><th>種別</th><th>下地</th><th>仕上げ（厚さmm）</th><th>塗装</th><th>充填材</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ A 種</td><td>・ 木</td><td>・ せっこうボード（9.5mm）</td><td>・ 無し</td><td>※有り</td></tr><tr><td></td><td>種類（ ）</td><td></td><td>・ 片面</td><td></td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>・ 合板（9.0mm）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>材種（ ）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※C 種</td><td>単管</td><td>防炎シート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>充填材：</td><td>グラスウール32k（厚：50mm以上）</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 17 技能士 工事種別 適用技能士 [1. 6. 2][1. 3. 3] 仮設工事 ・ とび作業 防水改修工事 ・ フォール防水工事作業 ・ ルタガム系遮断防水工事作業 ・ フォール系遮断防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ FR防水工事作業 ・ 改質アクリルシート工法防水工事作業 外壁改修工事 ・ 左官作業 ・ 内装装板金作業 ・ 建築塗装作業 ・ タイル張り作業 ・ ビル用サンシエ施工作業 ・ 樹根接着剤注入工事作業 ・ 自動ドア施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 建築フィルム作業 内装改修工事 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ タイル張り作業 ・ 吸付式硬質ウタカメ樹熱工事作業 ・ 保温保冷工事作業 ・ 塗装作業 塗装改修工事 ・ 木工塗装作業 ・ 建築塗装作業 耐震改修工事 ・ 鉄筋組立て作業 ・ 型枠工事作業 ・ とび作業 ・ 構造物鉄工作業 その他 ・ コックアップ工作業 18 化学物質の濃度測定 対象化学物質 半定基準 備考 (1.5.9)[1.7.9] ホルムアルデヒド 100μg/㎥（0.08ppm）以下 ※厚生労働省 トルエン 280μg/㎥（0.07ppm）以下 ※定める値 キシレン 200μg/㎥（0.05ppm）以下 値、重量単位 エチルベンゼン 3,800μg/㎥（0.88ppm）以下 換算※2 5℃ スチレン 220μg/㎥（0.05ppm）以下 ナジクロロベンゼン 240μg/㎥（0.04ppm）以下 測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ① 検体の採取方法 ※吸引方式/アクティブ法 ※拡散方式/パッシブ法 ・ 吸引方式/アクティブ法 ・ 拡散方式/パッシブ法 ② アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルドラジン誘導体固相吸着/溶剤抽出 法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下HPLC）により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びナジクロロベンゼンは、 固相吸着/溶剤抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のみいずれかを用いて 採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法（以下GC/MS）により行う。 ③ パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロ マトグラフ法（以下GC）あるいはA HMT - 吸光度法のうち採取機器に適 した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びナジクロロベンゼンは、 パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適した 分析法による。 測定対象室 ・ 監督員の指示する室（室） ・ 図示 測定箇所数 ※（ ） ・ 図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2 部 ・ 19 中間検査 ※行う（埼玉県建設工事検査要綱第4 条） ・ 行わない [1.7.2][1.5.1] 中間検査実施回数（ ） ・ 実施回数（ ） ○監督員の指示による 中間検査成績判定 ※対象外 ・ 対象（埼玉県建設工事成績判定要領第2） 20 完成図等 監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第1 に [1. 8. 1~3][1. 6. 1~3] 示す書類を原則電子データで提出する。 完成図等の種類及び記入内容 完成（竣工）図 ※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの（ 図面情報電子媒体 ※D-RX又はD-D-R） OCDデータの形式 ※S（ef） ・ DX ・ JW （埼玉県建築工事図面情報電子媒体作成要領による。OCDデータのバージョンは監督員と協議する） 保全に関する資料 ※1 部 ・ 部（通常取扱いに注意を要するもの使用方法を解説する） 完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する） 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（D-RX又はD-D-Rで1 部提出） ・ 適用しない 撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 ・ 撮影箇所 ※外部（ ）内部（ ） ・ 施工終了完成時の状況を比較できるように撮影する ・ 埼玉県建築工事写真作成要領別表5 原本及びアルバムを各1 部提出 原本/電子媒体 撮影時のFEG 及びアルバム（紙媒体又は電子媒体）を各1 部提出 パネル入り（外部全景）完成写真 ・ 要 ・ 不要 施設OCDデータ ・ 更新して提出 ・ 更新しない 防水工事 ※屋上防水 ・ 外壁防水 ・ 金属屋根等 [1. 6. 4] 建物防護施工日から10日間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2 部提出する。 上記以外 ・ 1 部提出 ① 資材・製造所等選定報告書の提出は要さない。 ② 材料検査を受けて使用する工事材料は監督員からの指示による。 2 仮設工事 ① 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート [2. 1. 3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 ・ ② 足場等 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガ イドラインの別添「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」にお ける20X2 手すり据置き方式又は3 手すり先行専用足場方式により行う。 [2. 2. 1][表2. 2. 1] 外部足場 ○設置する（設置範囲）○図示（ ） ・ 設置しない 防音シート ○設置する（設置範囲）○図示（ ） ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する（※樹立、足場板等）（ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ○E 種） C 種：利用可能なエレベーター（ ・ 図示 ・ ） D 種：利用可能な階段 （ ・ 図示 ・ ） ③ 既存部分の養生 養生の方法（※ビニルシート、合板等）（ ） 既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート 等）（ ） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（・ビニルシート 等）（ ） 保管場所 図示 （ ） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示 ・ 4 仮設間仕切り 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 [2. 3. 2][表2. 3. 1] 仮設間仕切りの種別と材質等 <table><thead><tr><th>種別</th><th>下地</th><th>仕上げ（厚さmm）</th><th>塗装</th><th>充填材</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ A 種</td><td>・ 木</td><td>・ せっこうボード（9.5mm）</td><td>・ 無し</td><td>※有り</td></tr><tr><td></td><td>種類（ ）</td><td></td><td>・ 片面</td><td></td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>・ 合板（9.0mm）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>材種（ ）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※C 種</td><td>単管</td><td>防炎シート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>充填材：</td><td>グラスウール32k（厚：50mm以上）</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table><thead><tr><th>材質</th><th>仕上げ</th><th>塗装</th><th>設置箇所</th><th>充填材</th></tr></thead><tbody><tr><td>※木製</td><td>※合板張り程度</td><td>・ 無し</td><td>※図示 ・ かし</td><td>・ 有り</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・ 片面</td><td></td><td>・ 無し</td></tr></tbody></table> 充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上） [2. 4. 1] 規模 ・ 既存建物内の一部を使用 ・ 構内・新設 ※設置しない（下記備品のみ用意する） 備品（ ） ・ 机 ・ 椅子 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 掛時計 ・ 寒暖計 ・ 長靴 ・ 雨合羽 ・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 墜落制止用器具 ・ 軍手 ・ 衣類ロッカー ・ 冷暖房機器 ・ 消火器 ・ 湯沸器 ・ 茶器 ・ 掃除用具 ・ 電話機 ・ FAX ・ 電子メール通信機器 ・ スキャナー ・ プリンター ※設置する（ [1. 1. 12]による表示 ・ 要 ○不要） ・ 設置しない [2. 4. 1][1. 1. 12] 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・ 無償） 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（別途施設調整を行うこと） ※図示 ・ ※設置位置等は監督員の指示による ・ 図示 必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ※監督員の指示による ・ 図示 仕様 ※図示 ・ 3 防水改修工事 ① 施工数量調査 調査範囲 ○図示の範囲 ・ [1. 6. 2、3] 調査方法 ・ 図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書 提出部数 ・ 2 部 [3. 1. 3] ② 降雨等に対する養生方法（とい共） ③ 既存防水の処理 [3. 1. 4][3. 2. 3、4、6] 既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲） ・ 図示（ ） ○行わない 既存防水層の撤去 ○行う（範囲） ○図示（ ） ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（※MAS ・ MAS ・ MC ・ MD） ○行わない 既存塗断防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（LX） ○行わない ④ 既存下地の処理 既存下地の断修箇所の形状、長さ、数量等 ○図示 ・ [3. 2. 6] FC工法及びFCS 工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした 立上り部等の処理 ※3. 2. 6(4)（ウ）(g) ①~③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラベト、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、 塔屋出入口部等の欠損及び防水層末端部の納まり部の処理 ・ 図示 ・ 屋根根絶防水 [3. 3. 2~5] 防水層の種類 <table><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [G]</th><th>[9. 2. 1~3]</th><th>絶縁シート</th><th>立上り部の保護</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ P 2 A</td><td>・ A-1 ・ A-2 ・ B-1</td><td></td><td></td><td></td><td>※ポリアミド 厚さ0.15mm 以上 又はポリアミド 70g/m²程度</td><td>・ 乾式保護材 ・ エグジット押え ・ れんが等 ※J S R 1250</td></tr><tr><td>・ P 1 B</td><td>・ B-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・ れんが押え（屋内）</td></tr><tr><td>・ P 2 A1</td><td>・ A-1 ・ A-2 ・ A-3</td><td></td><td>（材質）</td><td>※J S A 95211に基づく 押出式 ポリスチレン断熱材（A種） （※層付付）</td><td>※ポリアミド 70g/m²程度</td><td></td></tr><tr><td>・ P 1 B1</td><td>・ B-1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ T 1 B1</td><td>・ B-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> （厚さ）（mm） 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※表3. 3. 3)から[表3. 3. 9]による ・ J S A 60131に基づく 種類及び厚さ 用途による区分 ※種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※表3. 3. 3)から[表3. 3. 9]による ・ J S A 60131に基づく 種類及び厚さ 用途による区分 ※種 厚さ（ ）mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・ ・ 乾式保護材 窯業系パネルI 類（厚さ mm、幅 mm） 屋根根絶防水 [3. 3. 2~5] 防水層の種類 <table><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [G]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ M4 C</td><td>・ O-1 ・ O-2 ・ O-3 ・ O-4</td><td></td><td></td><td></td><td>（種類・使用量） ※70mmルーフィング 類 の製造所の仕様 ・</td></tr><tr><td>・ M3 D</td><td>・ D-1</td><td></td><td></td><td></td><td>（種類・使用量） ※70mmルーフィング 類 の製造所の仕様 ・</td></tr><tr><td>・ P 0 D</td><td>・ D-2</td><td></td><td></td><td></td><td>（改修用） ・ 設けない ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ P 0 D1</td><td>・ D-1</td><td></td><td></td><td></td><td>（改修用） ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ M3 D1</td><td>・ D-2</td><td></td><td></td><td></td><td>（改修用） ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ M4 D1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>（改修用） ・ 設ける ・ 設けない</td></tr></tbody></table> （厚さ）（mm） 高日射反射率防水の適用 [G] ※適用する ・ 適用しない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※表3. 3. 3)から[表3. 3. 9]による ・ J S A 60131に基づく 種類及び厚さ 用途による区分 ※種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※表3. 3. 3)から[表3. 3. 9]による ・ J S A 60131に基づく 種類及び厚さ 用途による区分 ※種 厚さ（ ）mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ （個）					定性分析方法	定量分析方法	材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材	・ A 種	・ 木	・ せっこうボード（9.5mm）	・ 無し	※有り		種類（ ）		・ 片面		・ B 種	・ 合板（9.0mm）					材種（ ）				※C 種	単管	防炎シート			充填材：	グラスウール32k（厚：50mm以上）				種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材	・ A 種	・ 木	・ せっこうボード（9.5mm）	・ 無し	※有り		種類（ ）		・ 片面		・ B 種	・ 合板（9.0mm）					材種（ ）				※C 種	単管	防炎シート			充填材：	グラスウール32k（厚：50mm以上）				材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材	※木製	※合板張り程度	・ 無し	※図示 ・ かし	・ 有り	・	・	・ 片面		・ 無し	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	[9. 2. 1~3]	絶縁シート	立上り部の保護	・ P 2 A	・ A-1 ・ A-2 ・ B-1				※ポリアミド 厚さ0.15mm 以上 又はポリアミド 70g/m ² 程度	・ 乾式保護材 ・ エグジット押え ・ れんが等 ※J S R 1250	・ P 1 B	・ B-2				・	・ れんが押え（屋内）	・ P 2 A1	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3		（材質）	※J S A 95211に基づく 押出式 ポリスチレン断熱材（A種） （※層付付）	※ポリアミド 70g/m ² 程度		・ P 1 B1	・ B-1						・ T 1 B1	・ B-2						工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	備考	・ M4 C	・ O-1 ・ O-2 ・ O-3 ・ O-4				（種類・使用量） ※70mmルーフィング 類 の製造所の仕様 ・	・ M3 D	・ D-1				（種類・使用量） ※70mmルーフィング 類 の製造所の仕様 ・	・ P 0 D	・ D-2				（改修用） ・ 設けない ・ 設ける ・ 設けない	・ P 0 D1	・ D-1				（改修用） ・ 設ける ・ 設けない	・ M3 D1	・ D-2				（改修用） ・ 設ける ・ 設けない	・ M4 D1					（改修用） ・ 設ける ・ 設けない
	定性分析方法	定量分析方法																																																																																																																																																																																										
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																																																																																																										
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																																																																																																										
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																																																																																																										
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																																																																																																										
種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材																																																																																																																																																																																								
・ A 種	・ 木	・ せっこうボード（9.5mm）	・ 無し	※有り																																																																																																																																																																																								
	種類（ ）		・ 片面																																																																																																																																																																																									
・ B 種	・ 合板（9.0mm）																																																																																																																																																																																											
	材種（ ）																																																																																																																																																																																											
※C 種	単管	防炎シート																																																																																																																																																																																										
充填材：	グラスウール32k（厚：50mm以上）																																																																																																																																																																																											
種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材																																																																																																																																																																																								
・ A 種	・ 木	・ せっこうボード（9.5mm）	・ 無し	※有り																																																																																																																																																																																								
	種類（ ）		・ 片面																																																																																																																																																																																									
・ B 種	・ 合板（9.0mm）																																																																																																																																																																																											
	材種（ ）																																																																																																																																																																																											
※C 種	単管	防炎シート																																																																																																																																																																																										
充填材：	グラスウール32k（厚：50mm以上）																																																																																																																																																																																											
材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材																																																																																																																																																																																								
※木製	※合板張り程度	・ 無し	※図示 ・ かし	・ 有り																																																																																																																																																																																								
・	・	・ 片面		・ 無し																																																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	[9. 2. 1~3]	絶縁シート	立上り部の保護																																																																																																																																																																																						
・ P 2 A	・ A-1 ・ A-2 ・ B-1				※ポリアミド 厚さ0.15mm 以上 又はポリアミド 70g/m ² 程度	・ 乾式保護材 ・ エグジット押え ・ れんが等 ※J S R 1250																																																																																																																																																																																						
・ P 1 B	・ B-2				・	・ れんが押え（屋内）																																																																																																																																																																																						
・ P 2 A1	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3		（材質）	※J S A 95211に基づく 押出式 ポリスチレン断熱材（A種） （※層付付）	※ポリアミド 70g/m ² 程度																																																																																																																																																																																							
・ P 1 B1	・ B-1																																																																																																																																																																																											
・ T 1 B1	・ B-2																																																																																																																																																																																											
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																							
・ M4 C	・ O-1 ・ O-2 ・ O-3 ・ O-4				（種類・使用量） ※70mmルーフィング 類 の製造所の仕様 ・																																																																																																																																																																																							
・ M3 D	・ D-1				（種類・使用量） ※70mmルーフィング 類 の製造所の仕様 ・																																																																																																																																																																																							
・ P 0 D	・ D-2				（改修用） ・ 設けない ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																																																																																							
・ P 0 D1	・ D-1				（改修用） ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																																																																																							
・ M3 D1	・ D-2				（改修用） ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																																																																																							
・ M4 D1					（改修用） ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																																																																																							

⑥改質アスファルトシート 防水

⑦合成高分子系ルーフィングシート 防水

⑧塗膜防水

⑨シーリング

⑩とい

⑪アルミ ニウム製笠木

⑫防水工事施工票

4-1コンクリート打放し仕上げ外壁

4-2モルタル塗り仕上げ外壁

4-3タイル張り仕上げ外壁

4-4既存タイル張りの撤去

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

④改質アスファルトシート 防水

⑤浮き部改修工法

⑥目地改修工法

⑦塗り仕上げ外壁等

⑧マステック塗材塗り

4-1既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

②仕上塗材仕上げ

3マスチック塗材塗り

4-5外壁用塗膜防水材料塗り

<

1改修工法

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による）
外部に面する建員の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建員 ※建具表による）

材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建員
種別
着色
屋内の建員
種別
着色
結露水の処理方法
工法
水切り板、ぜん板等 ※図示

2防火戸

性能値等
耐風圧性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
外部に面する建員の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-3	W-4	70	※図示による
・B種	S-5			100	※図示による
・C種	S-6	A-4	W-5		※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）

材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建員
種別
着色
屋内の建員
種別
着色
結露水の処理方法
工法
水切り板、ぜん板等 ※図示

3見本の製作等

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
建具見本製作の目的等：（ ）
特殊な建員の取組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

4防犯建物部品

適用箇所（ ・建具表による ）

5アルミニウム製建員

性能値等
耐風圧性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
外部に面する建員の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-3	W-4	70	※図示による
・B種	S-5			100	※図示による
・C種	S-6	A-4	W-5		※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）

材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建員
種別
着色
屋内の建員
種別
着色
結露水の処理方法
工法
水切り板、ぜん板等 ※図示

6網戸等

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm

7樹脂製建員

性能値等
耐風圧性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
外部に面する建員の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4		※図示による
・B種	S-5				※図示による
・C種	S-6		W-5		※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
（適用する建員 ※建具表による）
外部に面する建員の日照熱取得性の等級
枠の見込み寸法 ※建具表による

材料
ガラス ※複層ガラス
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
表面色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示

8鋼製建員

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による）
外部に面する建員の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建員 ※建具表による）

材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建員(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2. 400mmを超えるもの)
上記以外の鋼製建員 ※[表5. 4. 2]による
標準型钢製建員の形式及び寸法 ※建具表による

9鋼製軽量建員

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建員 ※建具表による）

材料
鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・Eポリ被膜鋼板 ・珐鋼板 ・スチル鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建員(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2. 400mmを超えるもの)
上記以外の鋼製軽量建員 ※[表5. 5. 1]による
標準型钢製建員の形式及び寸法 ※建具表による

10ステンレス製建員

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による）
外部に面する建員の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ ☑
断熱性の等級（ ）（適用する建員 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建員 ※建具表による）

材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ
工法
めっき付着量 ※Z12又はF12
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種
建物内部の木製建員に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5. 7. 2(2)(イ)(a)による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 ☑	表面の樹種 ・板面の品質（※広葉樹1等） 接着の程度（ ・1類 ・2類）	
・天然木化粧合板 ☑	樹種名（ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類）	
・特殊加工化粧合板 ☑	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度（ ・1類 ・2類）	
・MDF ☑		

表面板の厚さ ※[表5. 7. 6]による
引戸の召合せかまちのいりつけの適用
・適用しない

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鋼板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ※建具表による

・心すま
張り戸の種別（ ・I型 ・II型）
上張り（押入等の裏側以外）
縁じ上げ ・塗り縁
見込み寸法 ※19. 5mm ※建具表による

・戸ぶすま
表面板の仕上
見込み寸法 ※30mm ※建具表による

・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ※建具表による

枠及びくつずりの材料 ※建具表による

11木製建員

金物の種類及び見え掛け部の材質等
※[表5. 8. 1]及び適用は建具表による
金属製建員に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5. 8. 2]による
樹脂製建員に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5. 8. 3]による
木製建員に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5. 8. 4]による
木製建員に使用する戸車及びレール
※[表5. 8. 5]による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
※建具表による
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
クロウザ類

12建具用金物

金物の種類及び見え掛け部の材質等
※[表5. 8. 1]及び適用は建具表による
金属製建員に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5. 8. 2]による
樹脂製建員に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5. 8. 3]による
木製建員に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5. 8. 4]による
木製建員に使用する戸車及びレール
※[表5. 8. 5]による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
※建具表による
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
クロウザ類

13鍵

マスターキー ・製作する（ ・新規 ・既存マスター合わせ） ・製作しない
その他の鍵 ※各室3本1組（室名付付き）
鍵箱 ・無 ・有

14自動ドア開閉装置

戸の開閉方式
・建具表による
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書5. 9. 1による（防錆 ・適用する ・適用しない）
・種類、開閉方式（ ） ・耐電圧（ ）
・温度上昇（ ） ・耐久性（サイクル）（ ）
・防錆（ ） ・電源（ ）
・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書5. 9. 2による（防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・防錆（ ）
・防滴（ ） ・電源（ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ※建具表による
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置 ・行う ・行わない

15自閉式上吊り引戸装置

性能 ※[表5. 10. 1]による

16重量シャッター

シャッターの種類
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの前風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置（設置箇所 ・建具表による）
電動式シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置（設置箇所 ・建具表による）

17軽量シャッター

開閉形式の種類 ・電動式（手動併用） ※手動式
前風圧強度（ ）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による）
スラットの材質の種類
・JIS G 3302（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

18オーバーヘッドドア

セクション材料による区分
風圧力による強さの区分(Pa)
開閉方式による区分
収納形式による区分
ガイドレールの材質
※スチールタイプ
・アルミニウムタイプ
・ファイバーグラスタイプ
※125
・100
・75
・50
※バランス式
・スタンダード形
・ローヘッド形
・ハイリフト形
・バーチカル形
※溶融亜鉛めっき鋼板
・ステンレス鋼板
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による）
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラス
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・型板ガラス
型板ガラスの厚さによる種類
・網入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
形状による種類
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類及び厚さによる種類
性能による種類
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
断熱性による区分
日照取得性及び日照遮蔽性による区分
乾燥気体の種類
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
日照熱遮へい性による区分
耐久性による区分（日照熱遮へい性が2種の場合）
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製
○シリーング材
・グレイジングチャンネル
鋼製及び鋼製軽量
・シリーング材
ステンレス製
・シリーング材
樹脂製
・グレイジングチャンネル

19ガラス

呼び寸法(mm)
・160×160
・200×200
厚さ(mm)
・95
・95
色調
目地幅(mm)
伸縮調整目地位置(mm)
防火性能
壁用金属枠及び補強材の材質及び形状
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5. 5mm
形状 ※はしご形状横筋及び単筋
化粧目地モルタルの色
・白
・グレー
シリーングの種類
・SR-1
・PS-1
金属製化粧カバー 材質
寸法
形状
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による

20ガラスブロック

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5. 5mm
形状 ※はしご形状横筋及び単筋
化粧目地モルタルの色
・白
・グレー
シリーングの種類
・SR-1
・PS-1
金属製化粧カバー 材質
寸法
形状
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による

21ガラス用フィルム

呼び寸法(mm)
・160×160
・200×200
厚さ(mm)
・95
・95
色調
目地幅(mm)
伸縮調整目地位置(mm)
防火性能
壁用金属枠及び補強材の材質及び形状
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5. 5mm
形状 ※はしご形状横筋及び単筋
化粧目地モルタルの色
・白
・グレー
シリーングの種類
・SR-1
・PS-1
金属製化粧カバー 材質
寸法
形状
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による

6内装改修工事

1改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
※仕上げ材のみ（接着剤ととも）
下地モルタルとも（ ・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去方法
・機械的除去方法
・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示

4施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

5製材 ☑

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※2級
※A種 ・B種
※2級
※A種 ・B種
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※上小節
※A種 ・B種
※小節以上
※A種 ・B種
※A種 ・B種
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
（造作材の場合 ※A種 ・B種）
造作材の場合 ※A種 ・B種
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材
施工箇所 品名 化粧薄板の樹種名 芯材の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 3079に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用
・
・

1改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
※仕上げ材のみ（接着剤ととも）
下地モルタルとも（ ・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去方法
・機械的除去方法
・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示

4施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

5製材 ☑

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※2級
※A種 ・B種
※2級
※A種 ・B種
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※上小節
※A種 ・B種
※小節以上
※A種 ・B種
※A種 ・B種
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
（造作材の場合 ※A種 ・B種）
造作材の場合 ※A種 ・B種
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材
施工箇所 品名 化粧薄板の樹種名 芯材の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 3079に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用
・
・

6内装改修工事

1改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
※仕上げ材のみ（接着剤ととも）
下地モルタルとも（ ・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去方法
・機械的除去方法
・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示

4施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

5製材 ☑

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※2級
※A種 ・B種
※2級
※A種 ・B種
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※上小節
※A種 ・B種
※小節以上
※A種 ・B種
※A種 ・B種
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
（造作材の場合 ※A種 ・B種）
造作材の場合 ※A種 ・B種
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材
施工箇所 品名 化粧薄板の樹種名 芯材の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 3079に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用
・
・

1改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
※仕上げ材のみ（接着剤ととも）
下地モルタルとも（ ・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去方法
・機械的除去方法
・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示

4施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

5製材 ☑

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※2級
※A種 ・B種
※2級
※A種 ・B種
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※上小節
※A種 ・B種
※小節以上
※A種 ・B種
※A種 ・B種
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
（造作材の場合 ※A種 ・B種）
造作材の場合 ※A種 ・B種
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材
施工箇所 品名 化粧薄板の樹種名 芯材の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 3079に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用
・
・

6内装改修工事

1改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
※仕上げ材のみ（接着剤ととも）
下地モルタルとも（ ・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去方法
・機械的除去方法
・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示

4施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

5製材 ☑

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※2級
※A種 ・B種
※2級
※A種 ・B種
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※上小節
※A種 ・B種
※小節以上
※A種 ・B種
※A種 ・B種
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
※1等
※10%以下
※A種 ・B種
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
（造作材の場合 ※A種 ・B種）
造作材の場合 ※A種 ・B種
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材
施工箇所 品名 化粧薄板の樹種名 芯材の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※1等 ・2等
※1等 ・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※15%以下
※15%以下
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理の適用 間伐材等の適用
※14%以下
※14%以下
・JAS 3079に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用
・
・

6内装改修工事

1改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
※仕上げ材のみ（接着剤ととも）
下地モルタルとも（ ・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去方法
・機械的除去方法
・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示

4施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

5製材 ☑

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※2級
※A種 ・B種
※2級
※A種 ・B種
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
※上小節
※A種 ・B種
※小節以上
※A種 ・B種
※A種 ・B種
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm)

36

階段滑り止め

材種

・ステンレス製
・アルミニウム製押出型材

(20. 2. 7)

形状

※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等合）
端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし
寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法

(20. 2. 9)

黒板及び
ホワイトボード

⑥

・黒板 区分 ※焼き付け
種類 はつらつ ・銅製 ・
色 ※緑
・ホワイトボード（ ）

(20. 2. 11)

表示

衝突防止表示
・設置場所 ※図示による
形状・寸法 ・φ30φ
材質 ・（ステンレス製 ・塩ビシート）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
窓ぎれ、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、
取付け形式等(案内用記号はJIS Z 8210による)
※図示による

(20. 2. 12)

タラップ

材質及び仕上げ
・SUS304（スリッパ止め加工 ※あり ・なし）
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表 14. 2. 2による種別（※C種 ・ 種））

(20. 2. 14)

ブラインド

形式 操作 操作方法の種類 スラットの材種 スラット幅(mm) ホックス・レールの材種 幅・高さ取付箇所

・横形 ・手動 ※ギヤ式
・コード式
・操作機式
・電動 —
・縦形 ・手動 ※2本操作用ド式
※1本操作用ド式
・クロススラット
・クロススラット
・電動 —

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ⑤とする

操作方法 取付箇所
幅・高さ ・図示
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用の場合は ⑥とする

(20. 2. 15)

カーテン

形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考

・シングル ・片引き
・ダブル ・引分け
・手引き
・ひも引き
・電動
・つまみひだ
・種ひだ、片ひだ
・プレーンひだ

生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、⑤とする
裾荷カーテンの両端、上部及び谷合せの重なり ※300mm以上

(20. 2. 16)

カーテンレール

材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

(20. 2. 16)

ブラインドボックス及びカーテンボックス

幅幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材種 ・集成材(仕上げ)
・アルミニウム製 押出し型材(市販品)
種別(標準仕様書表14. 2. 1) ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色() ・特注色()
・鋼製(仕上げ)

(20. 2. 16)

天井点検口

材種 寸法 形式 外枠 内枠

※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・縁線タイプ ・縁線タイプ
・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ
・気密形

(20. 2. 16)

床点検口

材種 寸法 形式 備考

・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き
・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用
・鋼製

(20. 2. 16)

くつふきマット

材種 受け枠 備考

・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製(SUS304)
・優質アルミニウム合金製 ・優質アルミニウム合金
・ステンレス鋼(SUS304)製

(20. 2. 16)

流し台ユニット

材種 寸法(mm) 備考

W D H
・流し台 ・1200 ・550 ・800
・1500 ・600 ・850
・1800 ・650
・コンロ台 ・600 ・550 ・620
・600 ・670
・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500
・900 ・700
市販品
バックガード有り
天板ステンレス製

品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420のBにより試験を行ったとき、表1の規定による。
形状 ※図示

(20. 2. 16)

鋼製書架及び物品棚

種 類 規 格 等 JIS による種別

・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

(20. 2. 16)

49 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り

(20. 2. 16)

50 洗面カウンター

材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材) ・人工大理石
奥行(mm) ・約450 ・約600

(20. 2. 16)

51 防煙垂直壁

材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考

※納入磨板ガラス
・練入り磨板ガラス

・固定式

・可動式

・垂直降下式(巻取り型) ※不燃性(不燃認定品) ※500・800 ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)

・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500・800 表面仕上げ ※天井材張り

(20. 2. 16)

52 収納家具

材質、形状、寸法 ※図示
材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

(20. 2. 16)

7 塗装改修工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

[7. 1. 3]

② 下地調整

塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・図示

[7. 2. 1～7]

下地面の種類 下地調整の種別 塗替え ひび割れ部の補修

木部 ※不透明塗料塗り場合はRB種 ―
鉄鋼面 ・RA種(注) ※RB種 ―
亜鉛めつき面 ・RA種(注) ※RB種 ―
亜鉛めつき面(鋼製建具) ・RA種 ※RB種 ―
珪藻土、せっこうアクリル面 ・RA種 ※RB種 ・行う
コンクリート面(DP以外) ・RA種 ※RB種 ・行う
ALCパネル面 ・RA種(注) ・行う
押出成形セメント板面 ・RB種 ・RC種 ・行う
コンクリート面(DP) ・RA種(注) ・行う
・RB種 ・AC種 ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面 ・RA種 ※RB種 ・―

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。

[7. 3. 2～7]

3 素地ごしらえ

下地面等 種別

木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種
透明塗料塗りの場合 ・A種 ※B種
鉄鋼面(DP以外) ・A種 ・B種 ※C種
鉄鋼面(DP) ・A種 ※B種
亜鉛めつき面 ・A種 ※B種
珪藻土面及びせっこうプラスター面 ・A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ・A種 ※B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP) ・A種 ・B種
コンクリート面(DPのみ) ・A種 ※B種
せっこうボード面及びその他ボード面 目的地：総白処理工法 ※A種 ・B種
目的地：総白処理工法以外 ・A種 ※B種

[7. 4. 2、3]

④ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別

素地面 塗装の種類 塗料の種別 工程の種別

鉄鋼面 SOP 塗替え A種 ※C種
新規見え掛け A種 ※B種
[表7. 4. 3] EP-G 塗替え C種
(工程の種別は [表7. 4. 3]) 新規見え掛け ・A種 ※B種 ※A種
DP 塗替え 7. 4. 2(1)(f) (b) ・A種(下地調整RA種) ・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
(工程の種別は [表7. 4. 4]) 新規 7. 4. 2(1)(f) (a) に よる

珪藻土面 SOP 塗替え ※A種 ・B種 ※C種
(工程の種別は [表7. 4. 3]) 新規鋼製建具等 ※A種 ・B種
EP-G 塗替え C種 ※C種
(工程の種別は [表7. 4. 3]) 新規鋼製建具等 C種 ※A種
DP 塗替え C種 ※B種
(工程の種別は [表7. 4. 3]) 新規 B種 ―

[7. 5. 2～7. 12. 2]

⑤ 塗装 ⑥

塗装の種類 塗装面 工程

・合成樹脂調査ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ※B種 ・A種
木部屋内 ※B種
鉄鋼面 ※B種 ・A種
亜鉛めつき鋼面(鋼製建具) ※B種
亜鉛めつき鋼面(鋼製建具以外) ※B種
・クリヤラッカー塗り(CL) ※B種 ・A種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ※B種 ・A種
○耐候性塗料塗り(OP) 鉄鋼面上塗り等級(3)級 ―
珪藻土上塗り等級()級 ―
コンクリート面及び押出成形珪藻土板面 ※B種 ・A種
コンクリート面等 ※B種 ・A種
屋内の木部 ※B種
屋内の鉄鋼面 ※B種 ・A種
屋内の亜鉛めつき鋼面 ※A種 ・B種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ※B種 ・A種
・ウレタン樹脂フニス塗り(UO) ※B種 ・A種
・ステイン塗り ※B種 ・A種
・木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(ツクリト面、珪藻土面、せっこうアクリル面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は[表7. 9. 1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は[表7. 10. 1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。

[7. 5. 2～7. 12. 2]

6 PCB含有シーリング材処分

種 類 採取する部位・箇所数 備 考

・PCB含有シーリング材 部 位 図示
分析調査(第一次判定) 箇所数： 箇所
・PCB含有シーリング材 部 位 図示
分析調査(第二次判定) 箇所数： 箇所
詳細は監督員との協議による

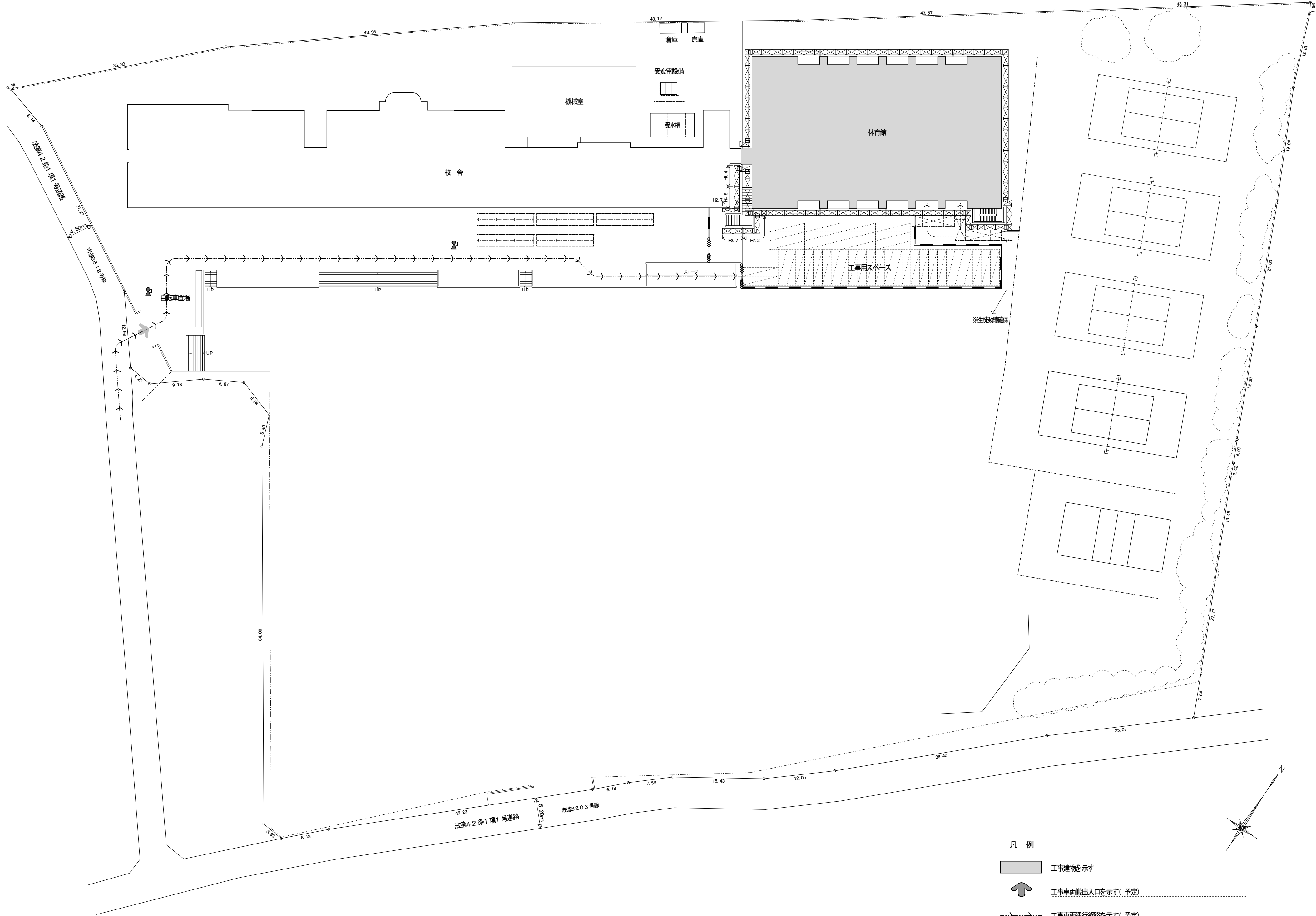
[7. 5. 2～7. 12. 2]

7 外断熱改修工事 ⑦

断熱材(種類 () 厚さ (mm) 施工箇所 (図示))
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆<



案 内 図



配 置 図 S=1/400

- 凡 例
- 工事建築物を示す
 - 工事車両出入口を示す(予定)
 - 工事車両通行経路を示す(予定)
 - 仮設仮(ガードフェンス H=1.8m)を示す
 - キャスターゲート(W3.6m×H2.0m、開閉式)を示す
 - 仮設鉄板敷きを示す
 - 交通誘導員を示す(搬出時、外柵撤去時等)
 - 手搬式行灯より照度試験場所 W90.0、垂直照度ネット状遮光シート 防炎1種 ※遮光シート部分の面積は123.4㎡とする
 - 養生防護網 網
- ※仮設計画は現場の状況を確認し、仮設計画図を作成の上、監督員の承認をうける事。

外 部 仕 上 表 特記：(※3)はアスベスト含有建材(レベル3)を示す

符号	部位	既存仕上	下地処理	改修仕上	備考
Rt	屋上	平場：均しモルタル、アスファルト防水(※3)、軽量コンクリートt=60押え 立上：アスファルト防水層、防水モルタルt=30	平場：伸縮目地撤去、充填(真鍮合モルタル)、高圧洗浄、樹脂モルタルノロ引き 立上：防水層撤去し、高圧洗浄、樹脂モルタルノロ引き	平場：改質アルファルトシート防水 複層、機械固定工法、高耐久高反射性能エマルジョン系厚膜保護塗料 立上：改質アルファルトシート防水 複層密着工法、高耐久高反射性能エマルジョン系厚膜保護塗料 立上端部押え：シーリング(MS-2)	ステンレス脱気筒1箇所／7.5㎡以下
RD	ルーフドレン	鋳鉄製(縦型、横引型) φ100、75	はつり撤去、樹脂モルタル修正	改修用ドレンφ100、75 アルミダイキャストドレンキャップ(堅型、横引型)	
TI	笠木	アルミ押出型材既製品 W=275	撤去	アルミ押出型材既製品 W=275 アルマイト	
Dr	腰水切	アルミ押出型材既製品 W=60	撤去	アルミ押出型材既製品 W=60 アルマイト、シーリング(MS-2)10×10	
Ow	外壁	コンクリート打放し、アクリル系吹付タイル(※3) 目地：シーリング(20×20) タイル貼りレリーフ：磁器質タイル貼り	水洗い、脆弱部補修、セメント系下地調整材(カチオン系 C-1) 目地：撤去、清掃 タイル貼りレリーフ：高圧洗浄、アンカーピン(4本/㎡)、樹脂注入	防水形複層塗材E(ゆず肌、水性シリコン系) 目地シーリング(PU-2：20×20) タイル貼りレリーフ：水性形ウレタン樹脂塗料	タイル剥落防止工法
Pc	ポーチ階段	床：樹脂モルタル下地、磁器質タイル 手摺壁：外壁に同じ 段裏：コンクリート打放し、アクリル系吹付タイル(※3)	手摺壁：外壁に同じ 段裏：既存塗膜除去、水洗い、脆弱部補修、セメント系下地調整材(カチオン系 C-1)	平場：洗浄 手摺壁：外壁に同じ 段裏：可とう形外装薄塗材E	
Es	外部階段	床：防水モルタル金ゴテ、段鼻タイル 手摺壁：外壁に同じ 段裏：コンクリート打放し、アクリル系吹付タイル(※3)	床：高圧洗浄、脆弱部補修、樹脂モルタルノロ引き 手摺壁：外壁に同じ 段裏：既存塗膜除去、水洗い、脆弱部補修、セメント系下地調整材(カチオン系 C-1)	床：環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 高耐久高反射性シリコン系保護塗料 手摺壁：外壁に同じ 段裏：可とう形外装薄塗材E	
Ea	庇 (・梁上端)	上端：防水モルタル金ゴテ 庇裏：外壁に同じ	高圧洗浄、樹脂モルタルノロ引き、壁取合：カッター入れの上、溝はつり10×10 庇裏：外壁に同じ	環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 高耐久高反射性シリコン系保護塗料 壁取合：シーリング(PU-2：10×10) 庇裏：外壁に同じ	
PI	ブール(サイドユニット含む)	F RP製	高圧洗浄	瞬間硬化型ポリウレア樹脂塗膜防水 スプレー工法	コースライン(7コース)
PIs	ブールサイド	防水モルタル金ゴテ、エポキシ塗床t=1.5(巾木：H250立上) 巾木-壁取合：シーリング 隔壁：外壁に同じ	高圧洗浄、下地調整RB、樹脂モルタルノロ引き(巾木：H250立上) 巾木-壁取合：シーリング撤去 隔壁：外壁に同じ	環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2)、ブールサイド専用防滑性ビニル床シート 巾木、排水溝：高耐久高反射性シリコン系保護塗料 巾木-壁取合：シーリング(PU-2：15×15) 隔壁：外壁に同じ	
Ro	通路	アスファルト防水層(※3)、押えコンクリート、ウレタン塗膜防水(※3)(巾木：H600立上) 壁：外壁に同じ ・ 巾木-壁取合：シーリング 天井：木毛セメント板t=15 リシン吹付	水洗い 壁：外壁に同じ ・ 巾木-壁取合：シーリング撤去 天井：高圧洗浄	高耐久高反射性シリコン系保護塗料(ウレタン塗膜防水トップコートのみ) 壁：外壁に同じ ・ 巾木-壁取合：シーリング(PU-2：15×15) 天井：可とう形外装塗材E	
Ww	足洗い	アスファルト防水層(※3)、押えコンクリート、エポキシ塗床t=1.5(巾木：H600立上) 壁・隔壁：外壁に同じ ・ 巾木-壁取合：シーリング 天井：木毛セメント板t=15 リシン吹付	高圧洗浄、下地調整RB、樹脂モルタルノロ引き(巾木：H600立上) 壁・隔壁：外壁に同じ ・ 巾木-壁取合：シーリング撤去 天井：高圧洗浄	環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 高耐久高反射性シリコン系保護塗料(巾木：H600立上) 壁・隔壁：外壁に同じ ・ 巾木-壁取合：シーリング(PU-2：15×15) 天井：可とう形外装塗材E	
Pi	1階通路	床：コンクリート直管ゴテ仕上 壁：X8通 外壁に同じ ・ X7通側 LGS壁下地、石綿セメントフレキシブルボード(※3) t=6 EP塗り 天井：LGS野縁、石綿セメントフレキシブルボード(※3) t=6 EP塗り	壁：X8通 外壁に同じ ・ X7通側 現況仕上撤去 天井：現況仕上撤去	床：現況のまま 壁：X8通 外壁に同じ ・ X7通側 けい酸カルシウム板t=6 EP塗り 天井：けい酸カルシウム板t=6 EP塗り	
Dp	たて樋	樋：カラー塩ビ管 φ100、75	現況撤去(支持金物共)	硬質塩ビ製φ100、75 カラー(SUS支持金物共)	
Cp	養生管	配管用炭素鋼継管 FE塗り 100A、80A、H=2,000	現況撤去(支持金物共)	配管用炭素鋼継管 OP塗り 100A、80A、H=2,000	
	建具周囲シーリング	シーリング(15×15)	撤去、清掃	シーリング(PU-2：15×15)	
	建具	ガラス留め：ビード	ガラス留め：現況撤去※外部のみ	建具調整・清掃 ガラス留め：シーリング(MS-2：5×5程度)※外部のみ	
St	鉄部	SOP塗り	下地調整RB、錆止め塗布	DP塗り	

弱部弱部補修

塗膜浮き：集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

欠損部(亀裂)：脆弱コンクリートはつり、錆止め塗布、エポキシ樹脂モルタル充填

クラック(外壁)：水性浸透性エポキシ樹脂プライマー、特殊フィルム(粘着層付)貼り、特殊アクリルゴム系エマルジョン系塗料塗布(ノンカットフィルム工法)

塗床除去：集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

クラック(ブールサイド)：Uカットシール材充填(可とう性エポキシ樹脂充填)

特記事項



齊藤出建築設計室

一般建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印

設 計

設計年月日

尺 5 . 12 . 20

変更年月日

工 事 名 称

狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事

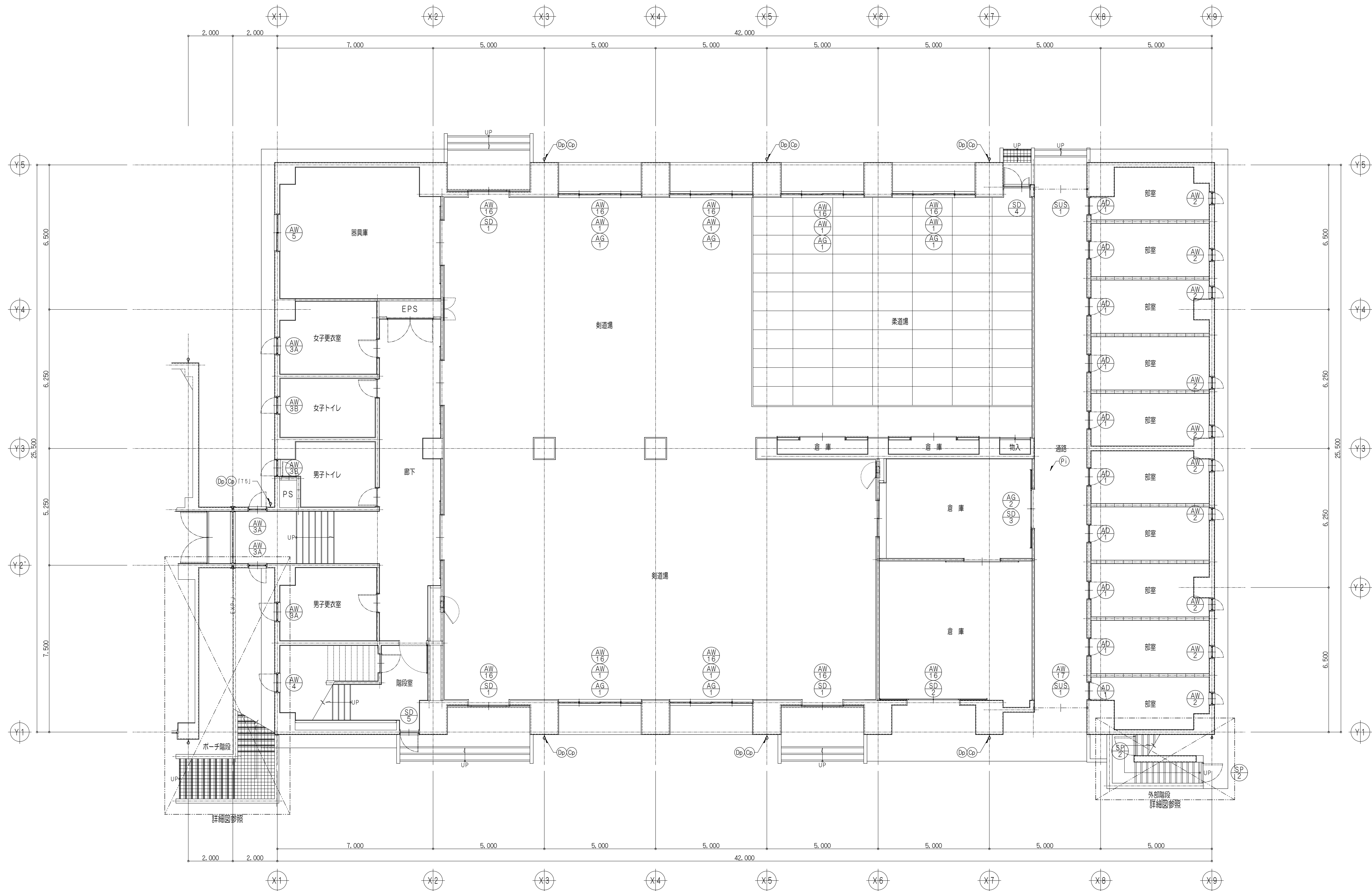
図 章 名 称

外部仕上表

Scale

No.

A-08



- 凡 例
- 仕上げ符号は外部仕上表による
- 凡例、仕上表以外の事項は図示による
- 建具改修仕様は建具表による
- 「T5」の表記ある欄、養生管はそれぞれφ75、80Aとし、表記なきはそれぞれφ100、100Aとする
- ピロティ床、大走り、出入口前ポーチは現況のままとする

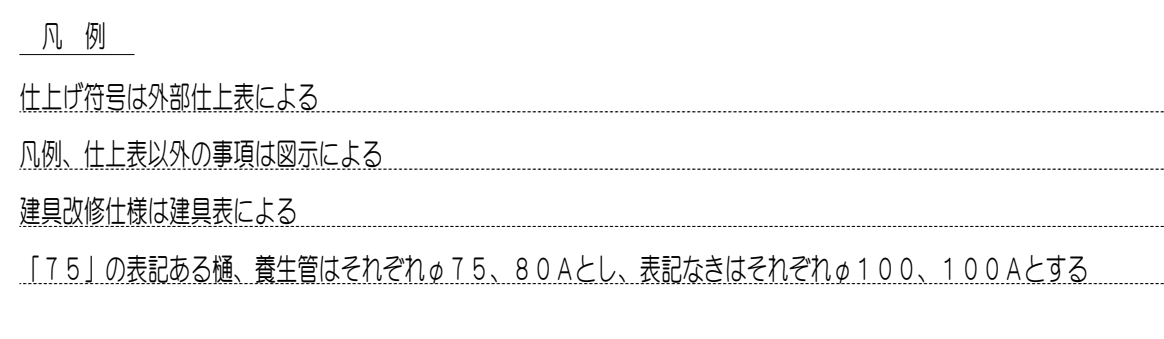
1 階 平 面 図 S=1/100

特記事項

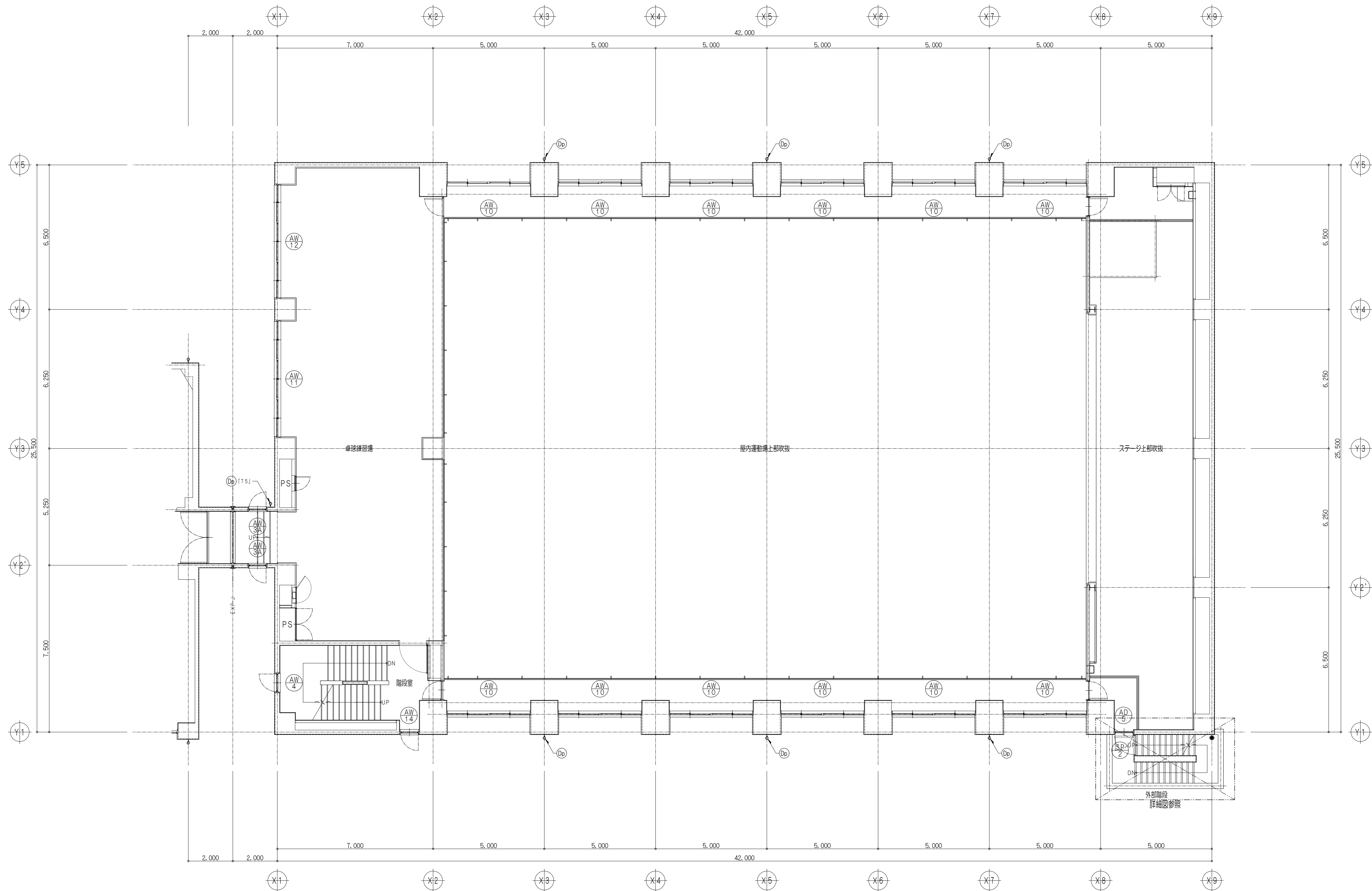
**斉藤出建築設計室**
一級建築士 第326081号 齋藤 出

校 印	設 計	設計年月日 R. 5.12.20
		変更年月日

工事名称	狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事
図書名称	1階平面図
Scale	S=1/100



 齊藤 健二 建築設計室 一般建築士 第326081号 齋藤 出	様 子 図 設計年月日 R. 5. 12. 20	工事名称 茨城県立入間野中学校体育館外壁等改修工事	No. A-10
	施 工 図 図番名称 2階平面図	縮 小 率 Scale S=1/100	



凡 例

仕上げ符号は外部仕上表による

凡例、仕上表以外の事項は図示による

建具改修仕様は建具表による

「75」の表記ある欄、養生管はそれぞれφ75、80Aとし、表記なきはそれぞれφ100、100Aとする

3 階 平 面 図 S=1/100

特記事項

**斉藤出建築設計室**
一般建築士 第326081号 齋 藤 出

校 印	設 計	設計年月日 R. 5.12.20
		変更年月日

工事名称	狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事
図書名称	3階平面図
Scale	S=1/100

凡 例

仕上り符号は外部仕上表による

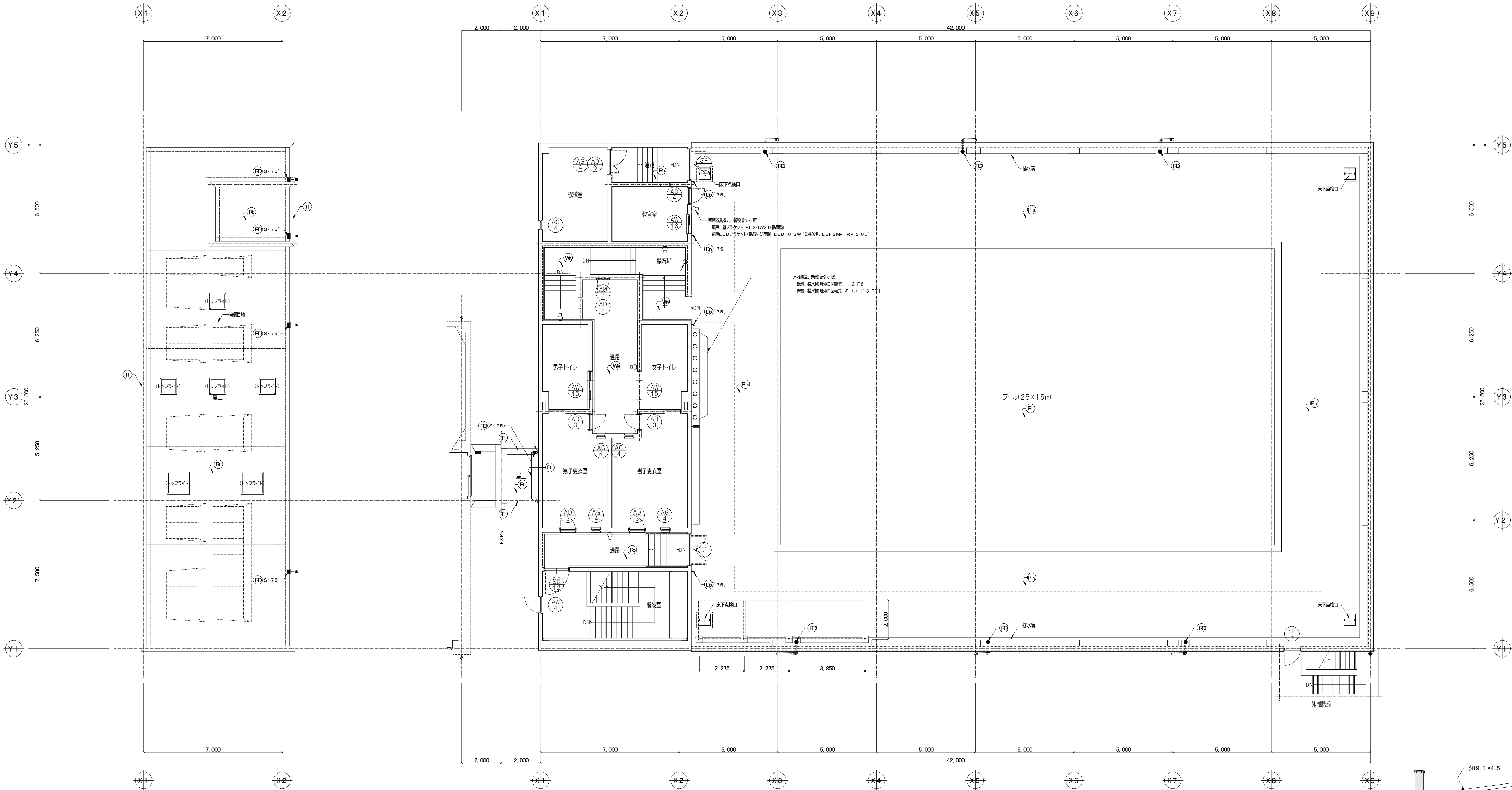
凡例、仕上表以外の事項は図示による

建具改修仕様は建具表による

「75」の表記ある様、養生管はそれぞれφ75、80Aとし、表記なきはそれぞれφ100、100Aとする

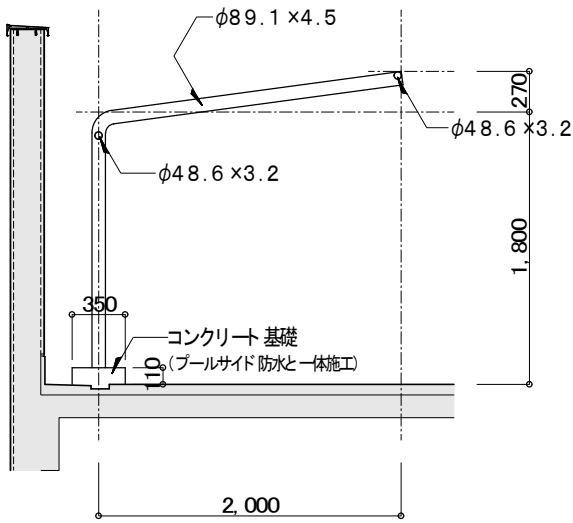
ルーフドレン符号の、Sは標準型、75は口径 φ75)をそれぞれ示し、表記なきは標準型、φ100とする

床下点検口: カッター入れ、床下点検口(600×600)撤去し、新設(600×600、密閉、鍵付き)



R 階 平 面 図 S=1/100

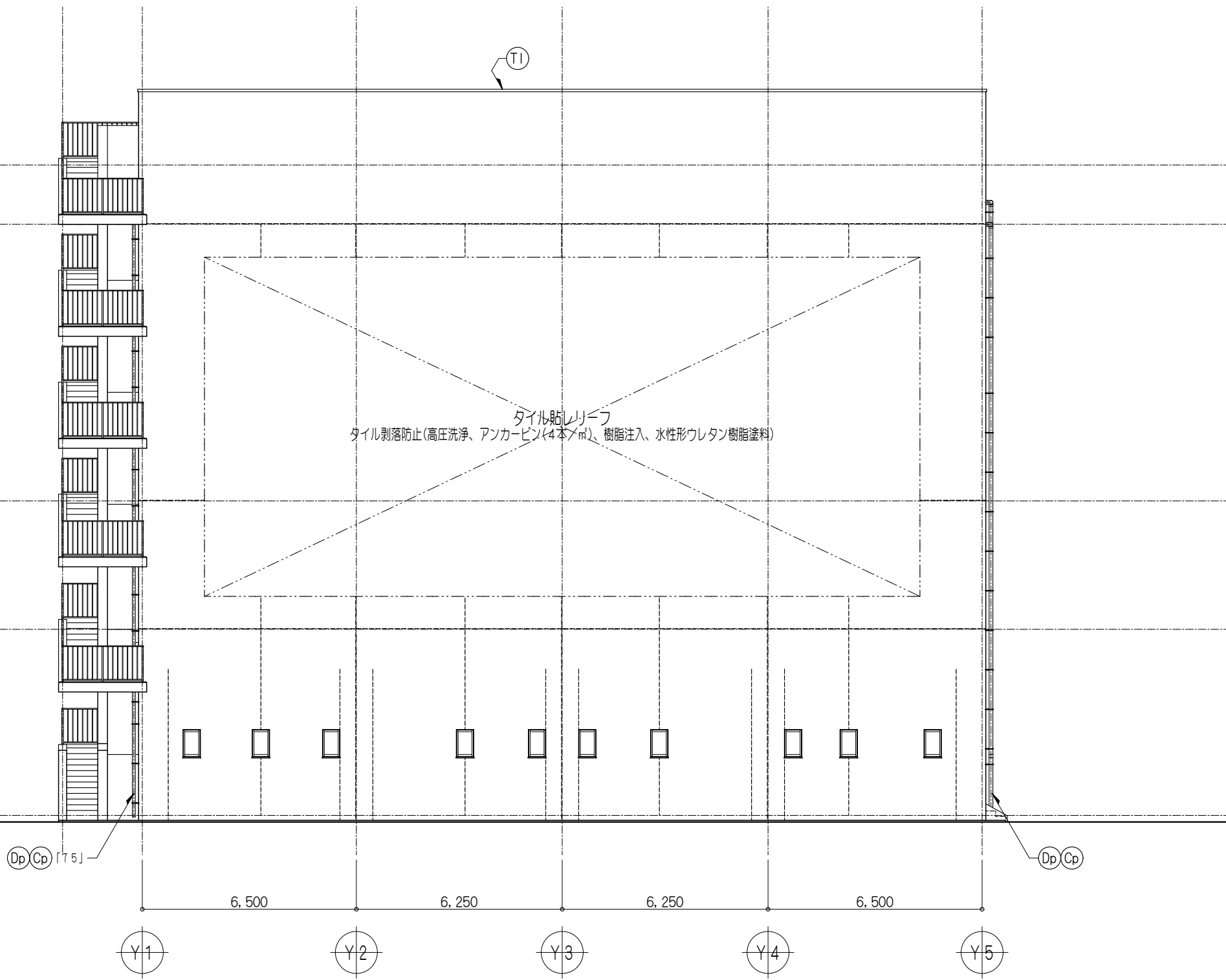
4 階 平 面 図 S=1/100



日除サント 骨組詳細図 S=1/50

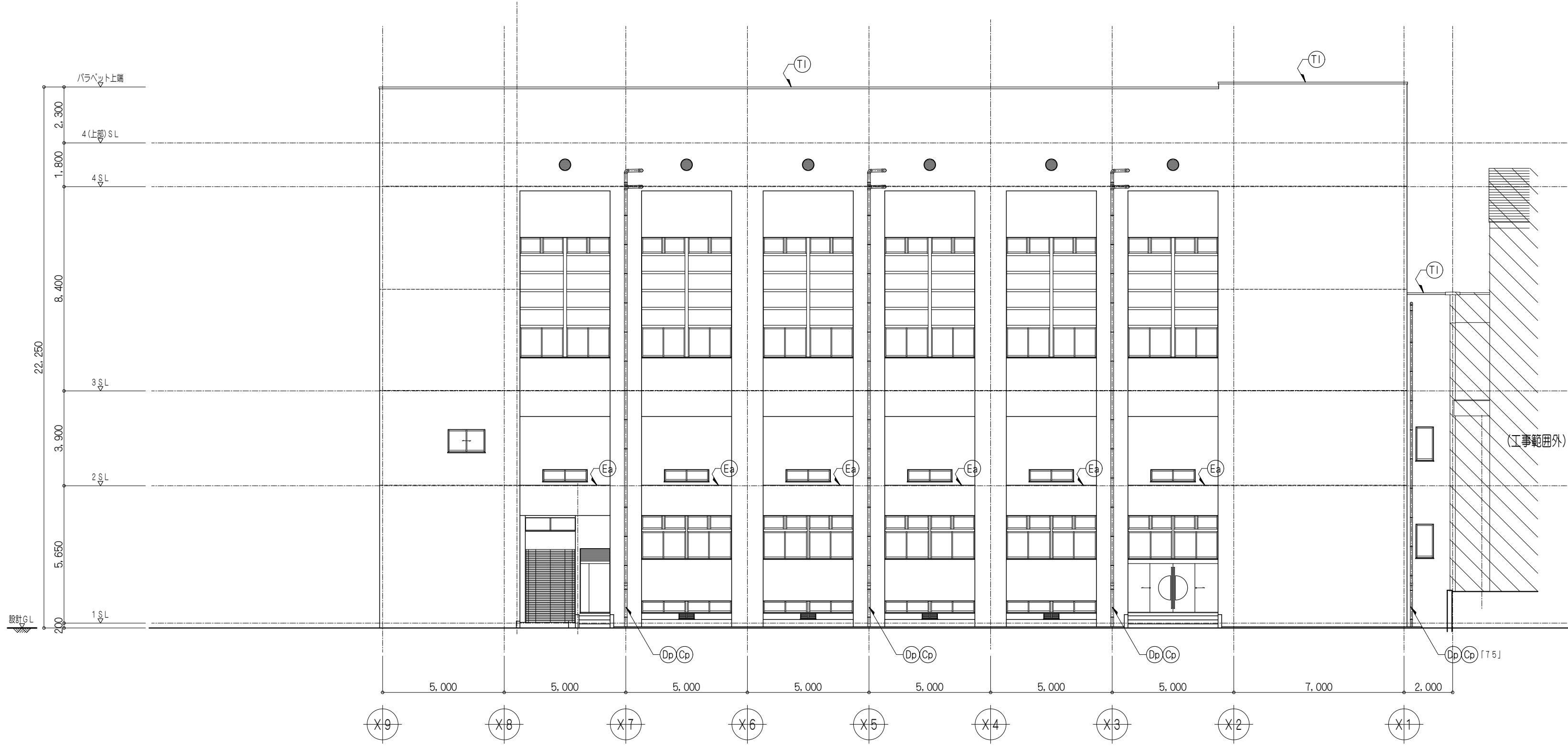


南側立面図 S=1/150

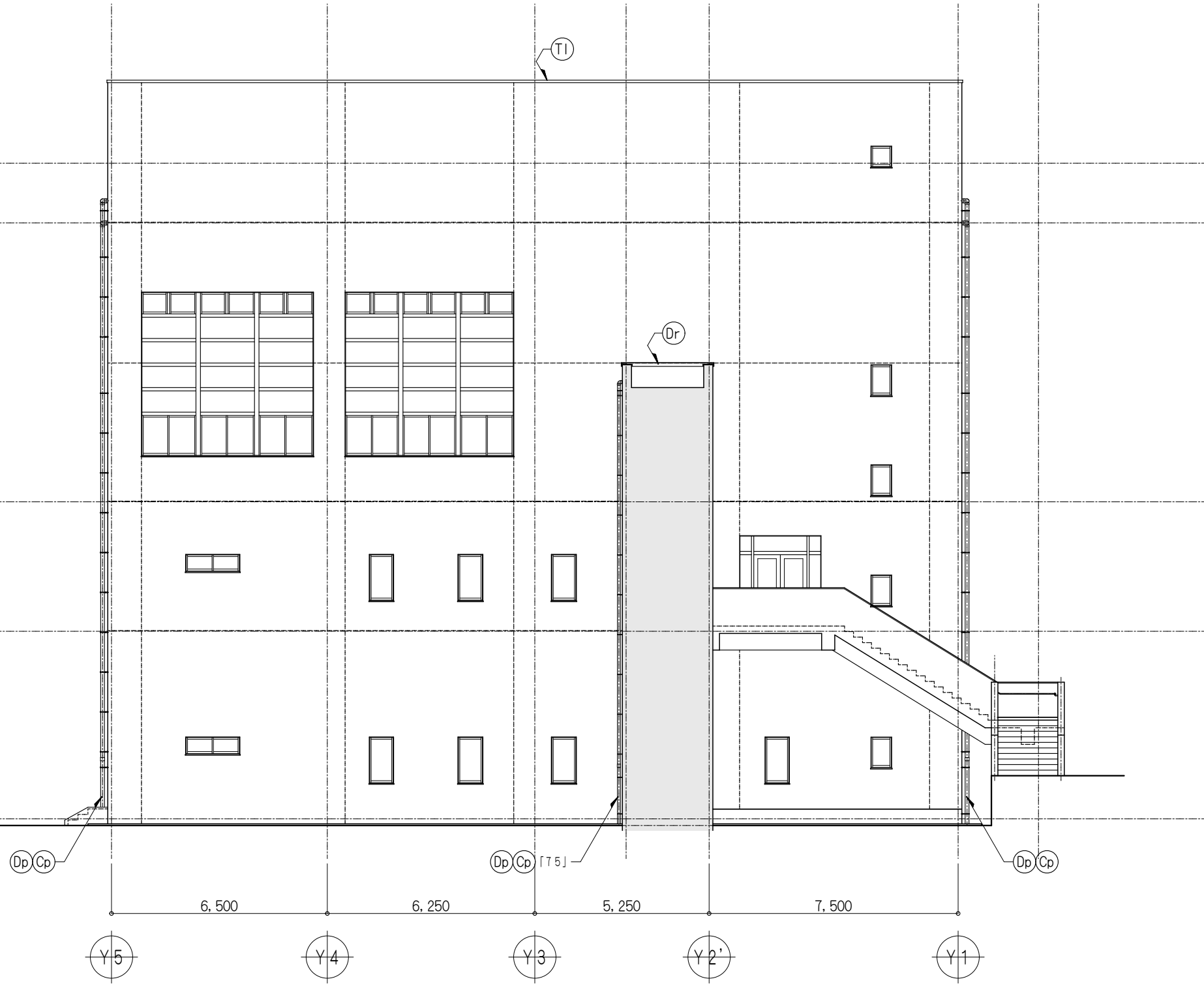


東側立面図 S=1/150

- 凡例
- 仕上げ符号は外部仕上表による
- 外壁仕上符号：(Ow) ※図中の符号表記は省略する
- ：外壁目地を示す
- 凡例、仕上表以外の事項は図示による
- 建具改修仕様は建具表による
- 「T5」の表記ある構、養生管はそれぞれφ75、80Aとし、表記なきはそれぞれφ100、100Aとする



北側立面図 S=1/150



西側立面図 S=1/150

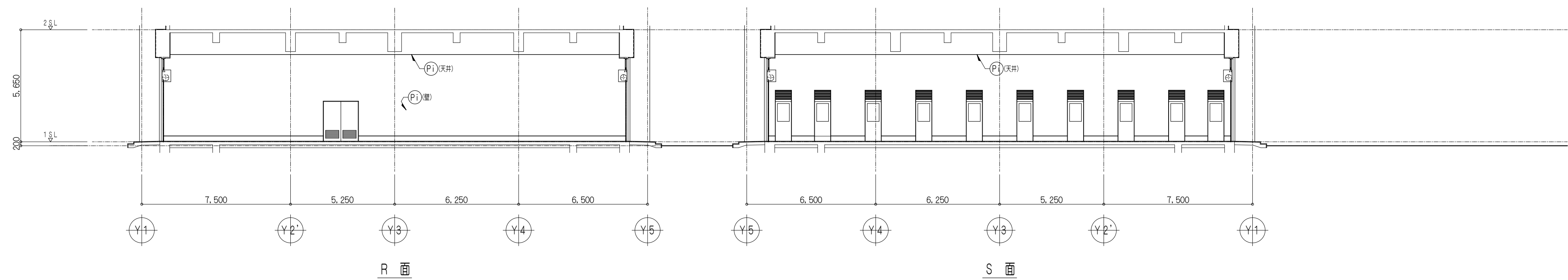
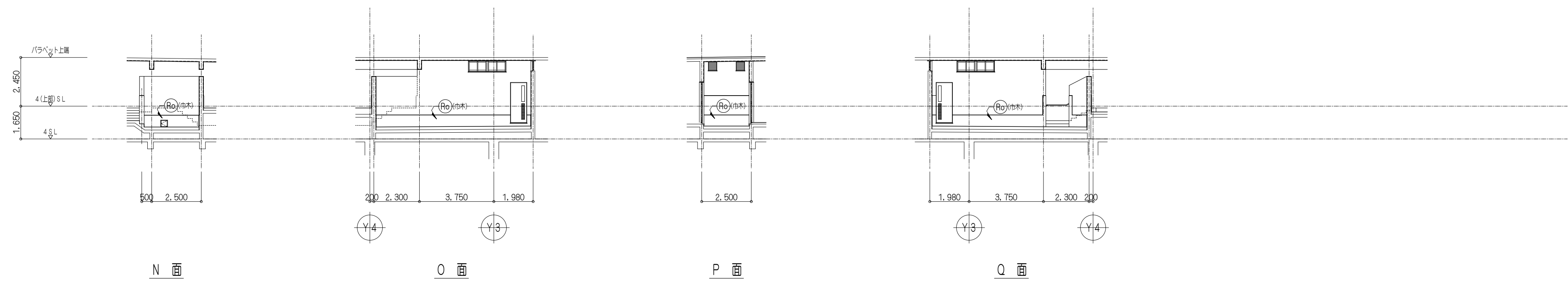
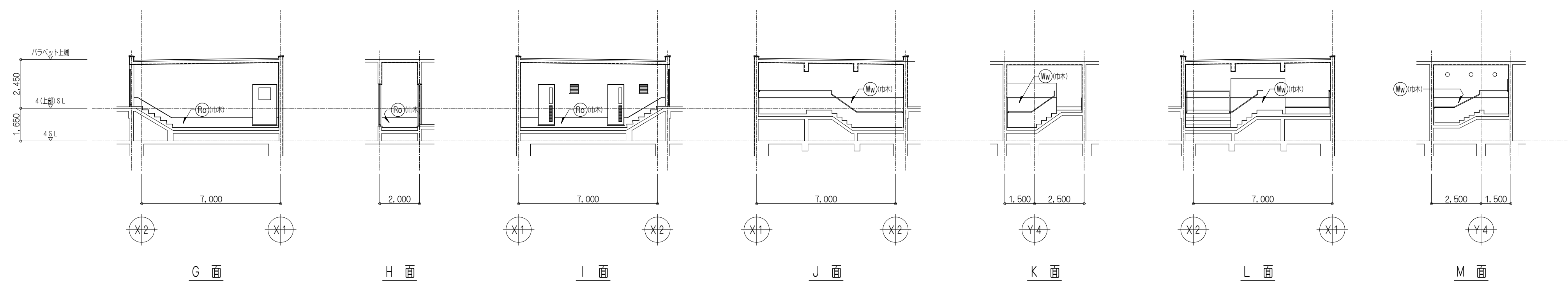
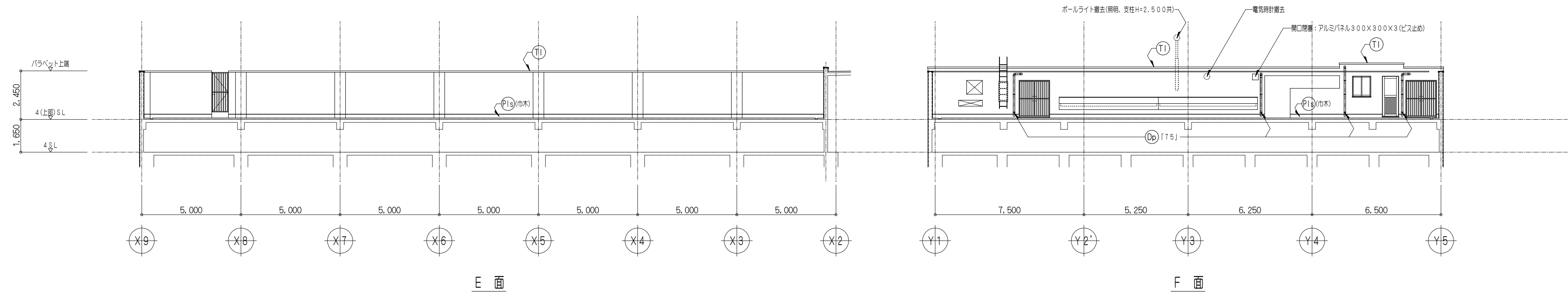
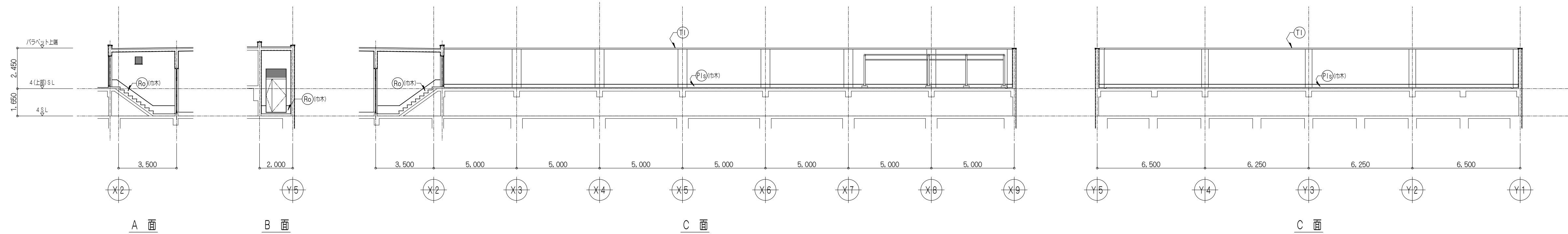
特記事項

**斉藤出建築設計室**

一般建築士 第326081号 齋藤 出

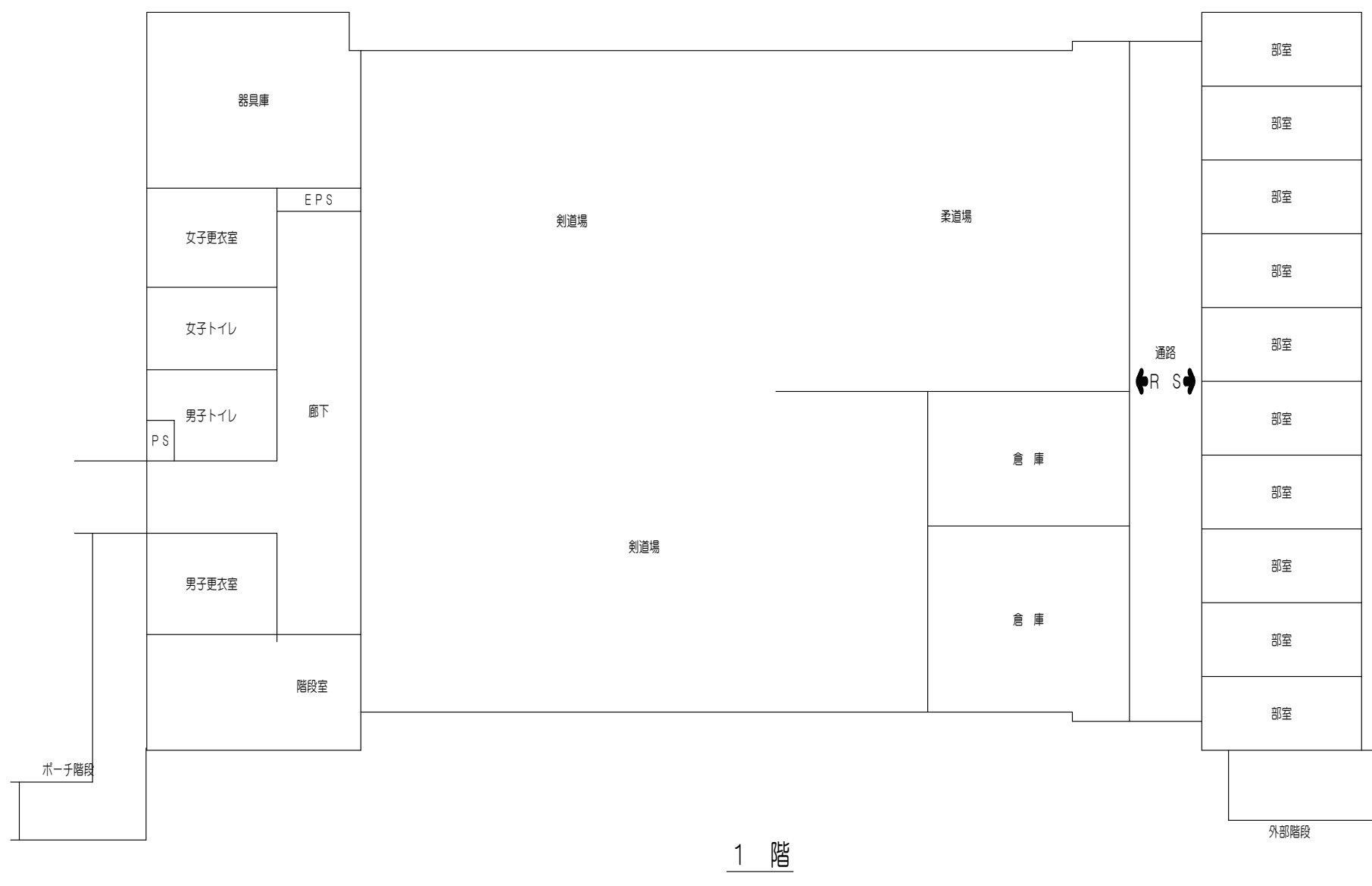
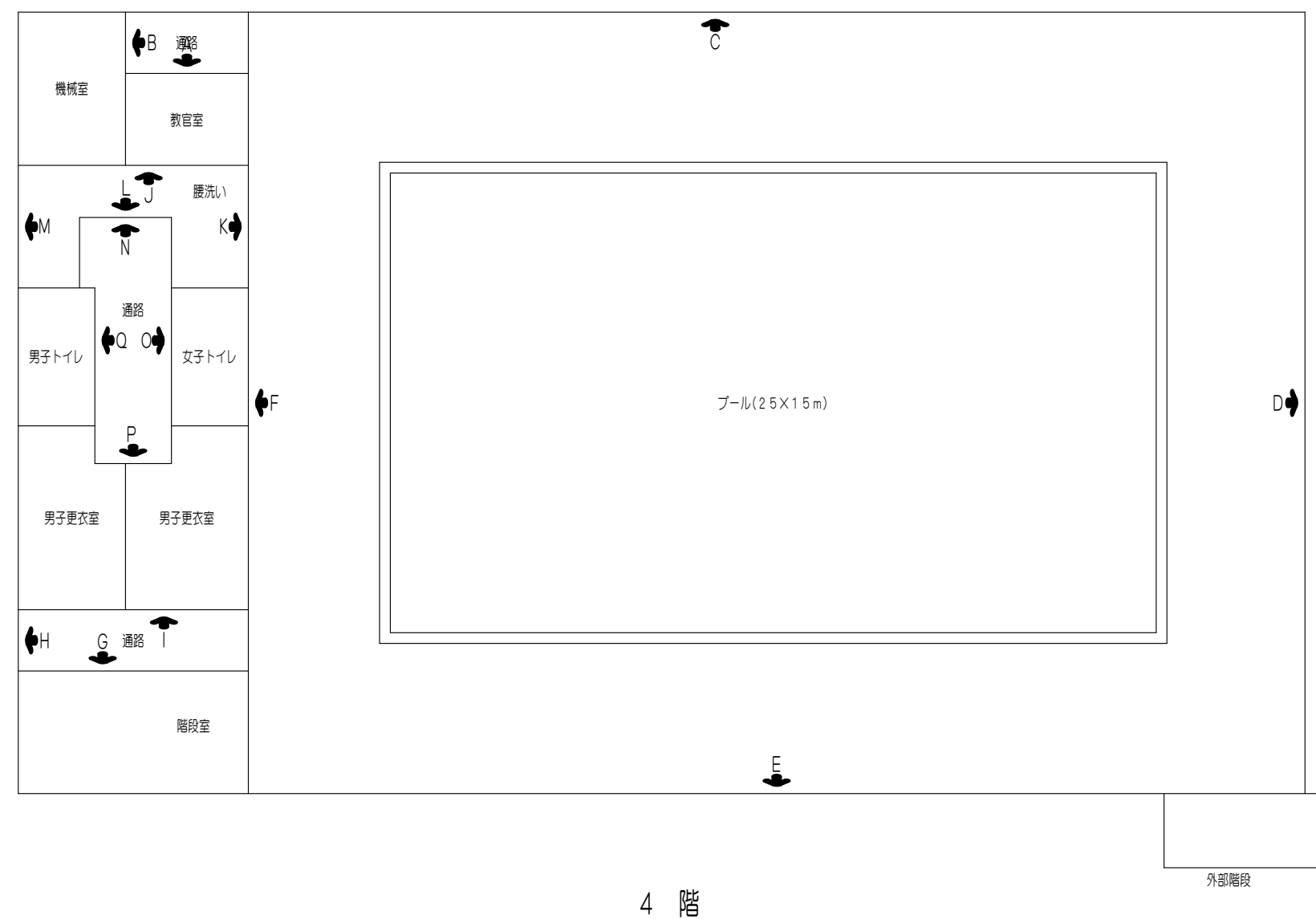
校印	設計	設計年月日 R. 5.12.20
		変更年月日

工事名称	狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事
図書名称	改修 立面図1



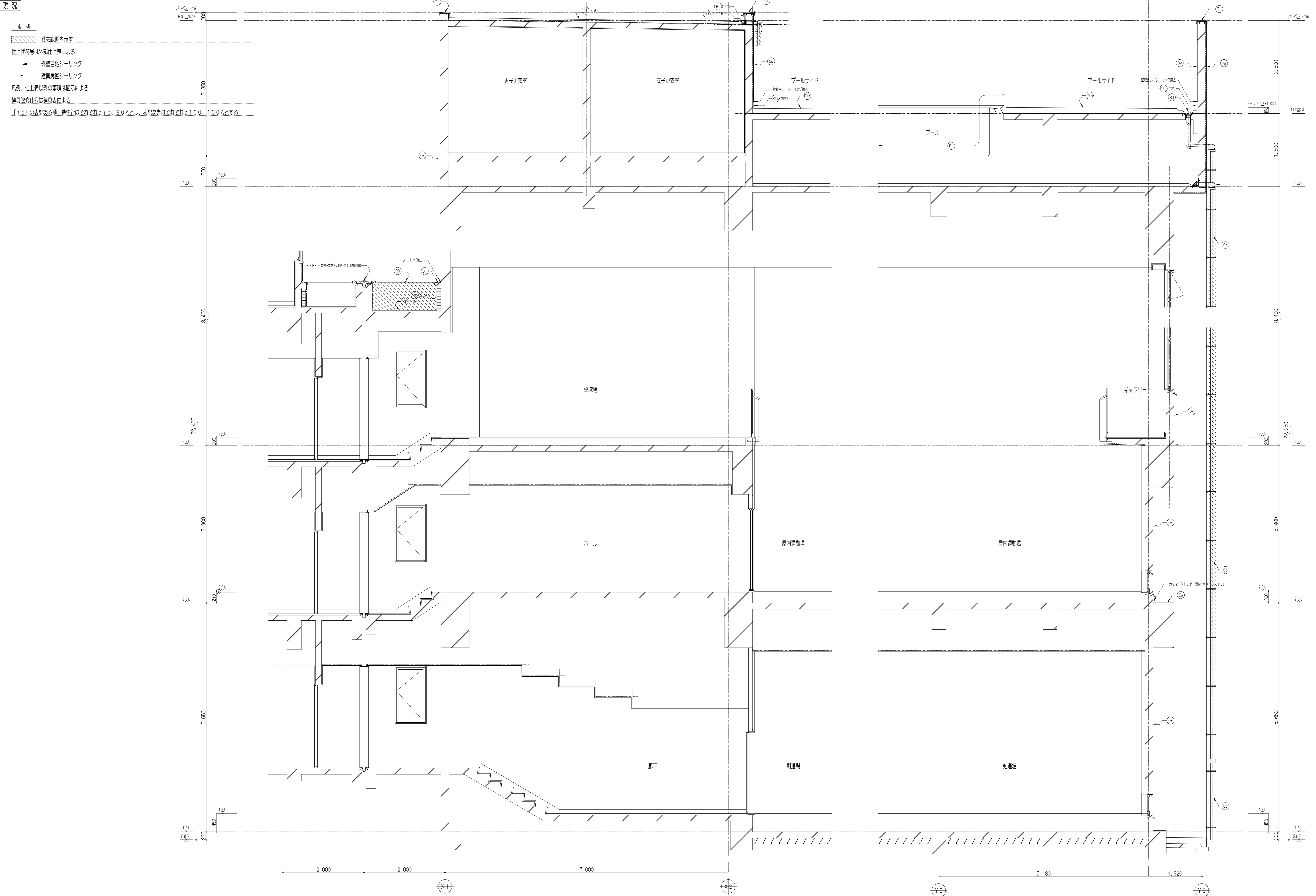
凡例

- 仕上げ符号は外部仕上表による
- 外壁仕上符号: (Ow) ※図中の符号表記は省略する
-: 外壁白地を示す
- 凡例、仕上表以外の事項は図示による
- 建具改修仕様は建具表による
- 「T5」の表記ある様、養生管はそれぞれφ7.5、8.0Aとし、表記なきはそれぞれφ1.0.0、1.0.0Aとする
- 図示になくとも、工事範囲にある鉄部は全て塗替え((St))とする



立面図 KEY PLAN

- 凡 例
- 撤去範囲を示す
- 仕上げ符号は外部仕上表による
- 外壁目地シーリング
- 建具周囲シーリング
- 凡例、仕上表以外の事項は図示による
- 建具改修仕様は建具表による
- 「7.5」の表記ある橋、養生管はそれぞれφ75、80Aとし、表記なきはそれぞれφ100、100Aとする



特記事項

 斉藤出建築設計室 一般建築士 第326081号 齋 藤 出	 	校 印	設 計	設計年月日 凡 5.12.20	工事名称 狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事	No.
		図 章 名 称	規 況 短 計 図	変更年月日		

凡 例

仕上げ符号は外壁仕上表による

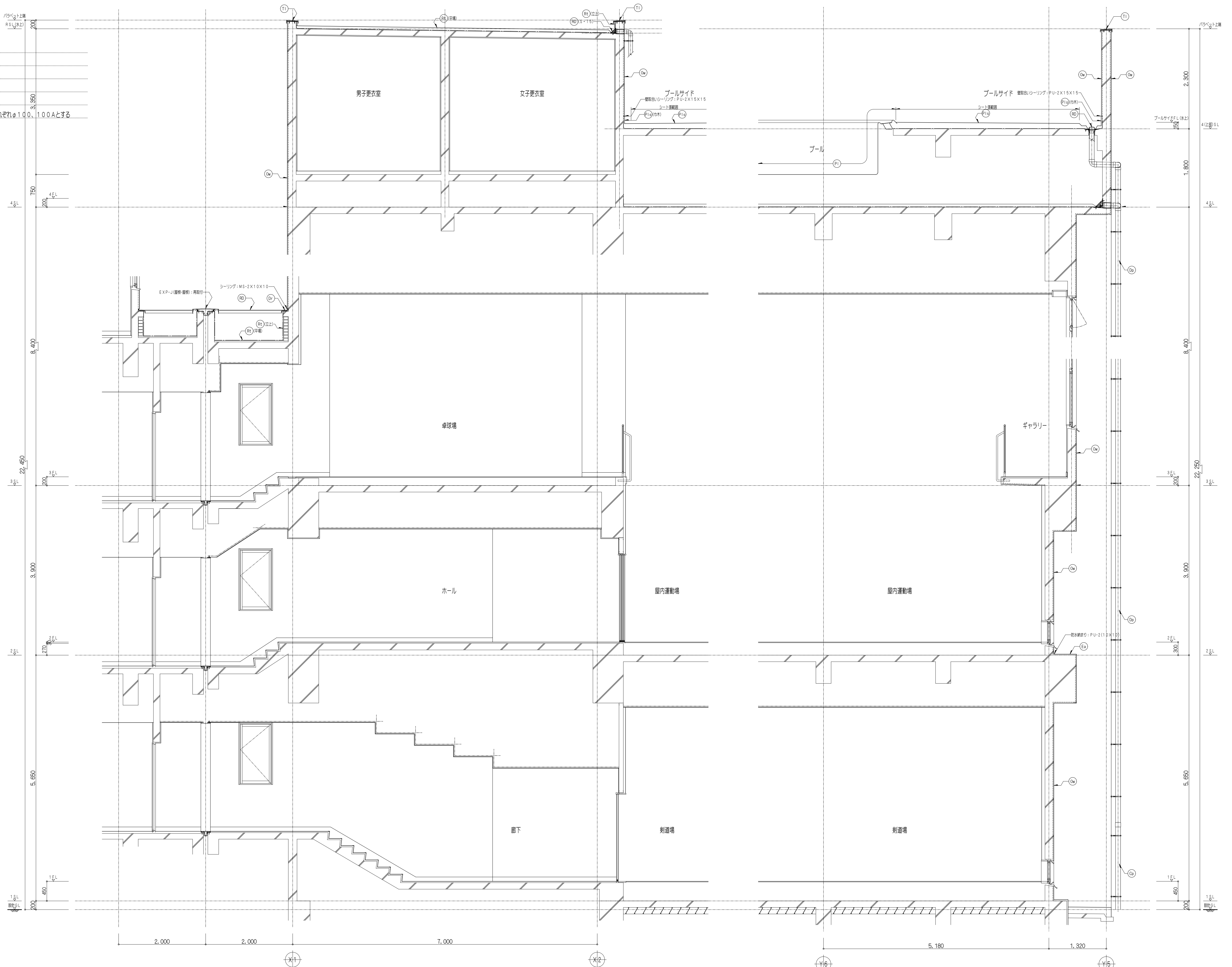
外壁目地シーリング

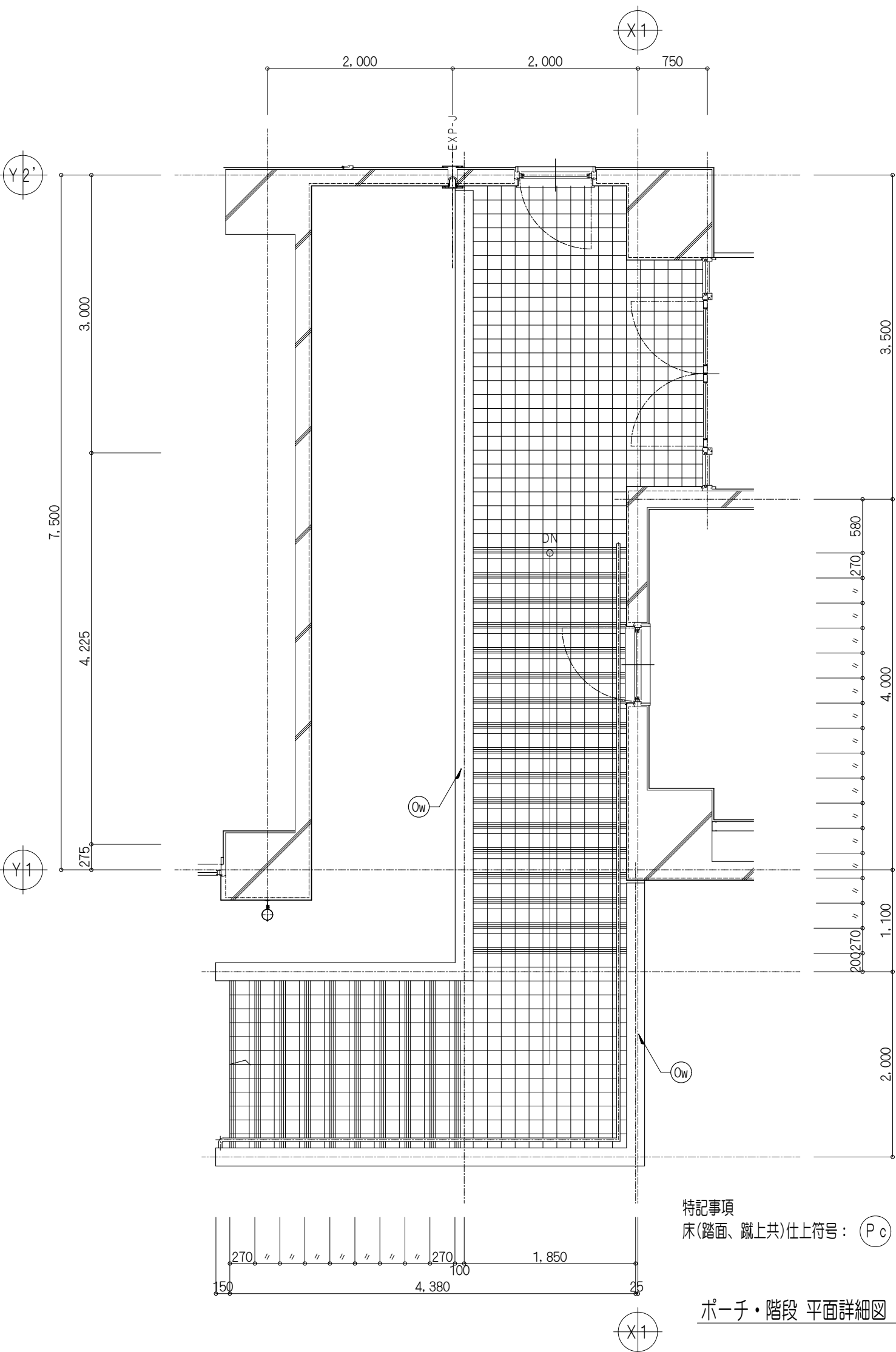
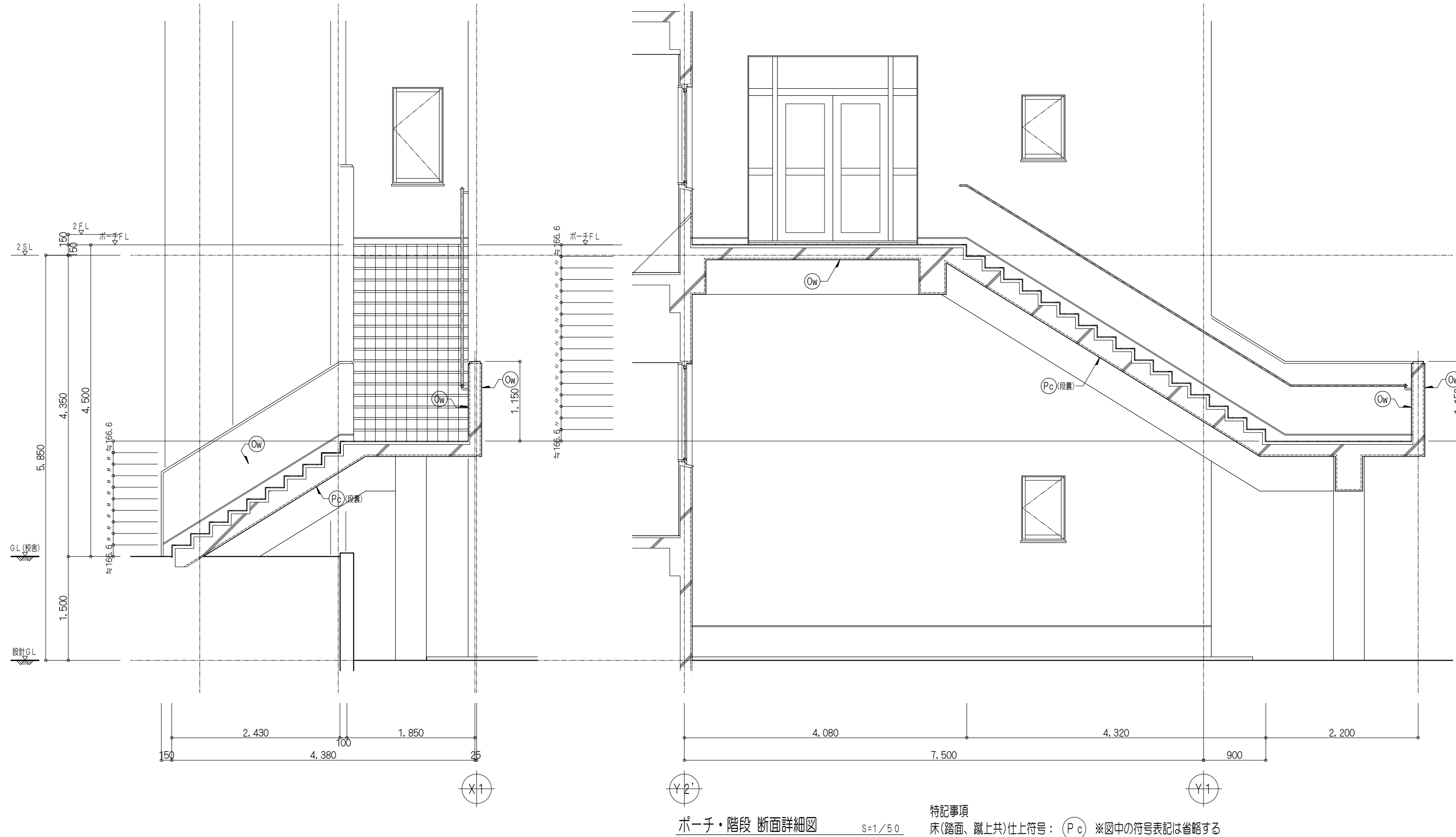
建具周囲シーリング

凡例、仕上表以外の事項は図示による

建具改修仕様は建具表による

「7.5」の表記ある種、養生管はそれぞれφ7.5、8.0Aとし、表記なきはそれぞれφ10.0、10.0Aとする





凡 例

仕上げ符号は外部仕上表による

- 外壁目地シーリング
- 建具周囲シーリング

凡例、仕上表以外の事項は図示による

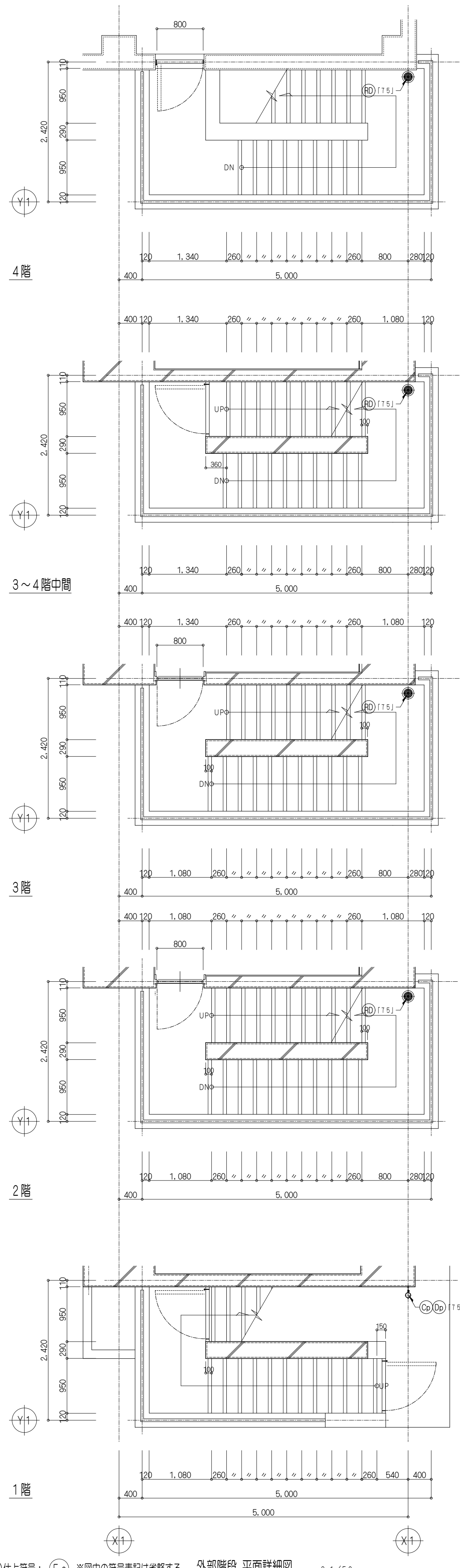
建具改修仕様は建具表による

「75」の表記ある欄、養生管はそれぞれφ75、80Aとし、表記なきはそれぞれφ100、100Aとする

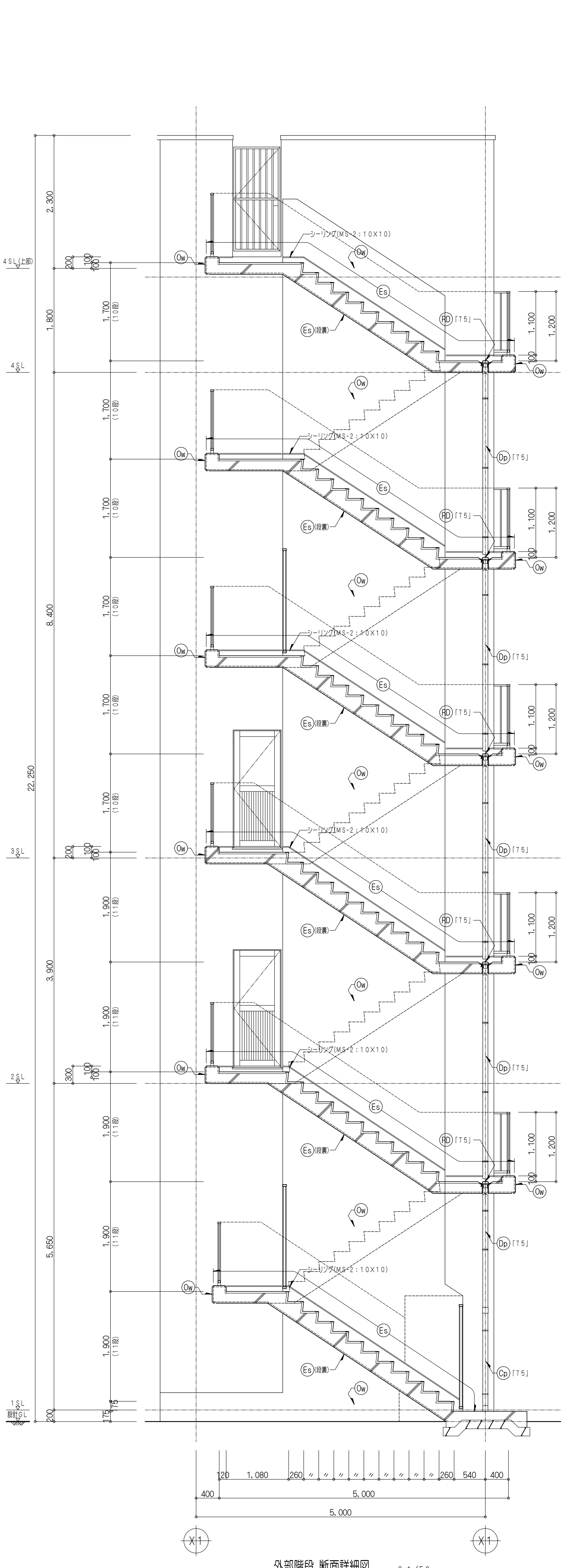
ルーフトレン符号の、Sは横引型、75は口径(φ75)をそれぞれ示し、表記なきは縦型、φ100とする

特記事項
床(踏面、蹴上共)仕上符号：(Pc) ※図中の符号表記は省略する

ポーチ・階段 平面詳細図 S=1/50



特記事項
床(踏面、蹴上共)仕上符号：(Es) ※図中の符号表記は省略する 外部階段 平面詳細図 S=1/50



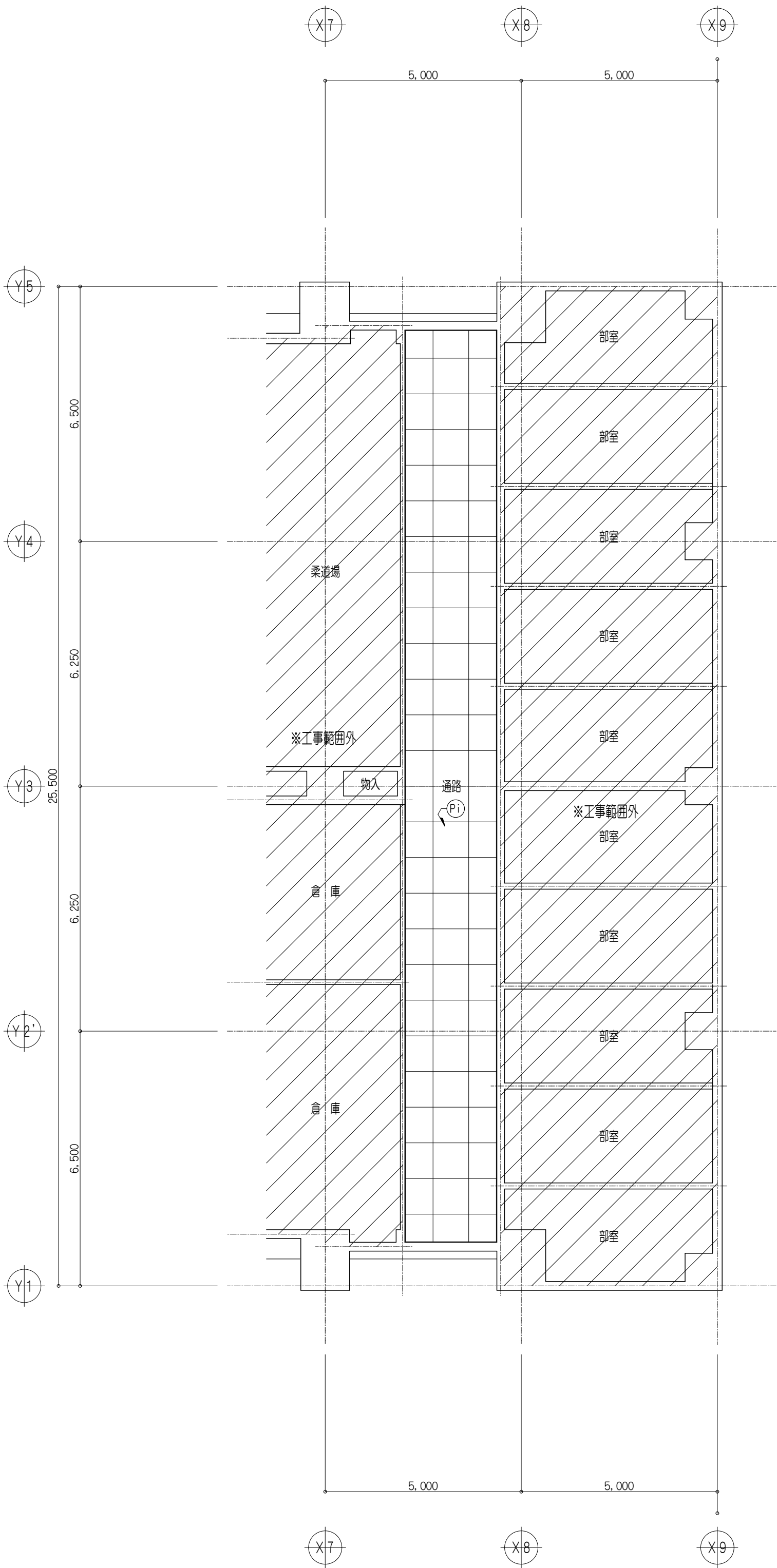
外部階段 断面詳細図 S=1/50

凡 例

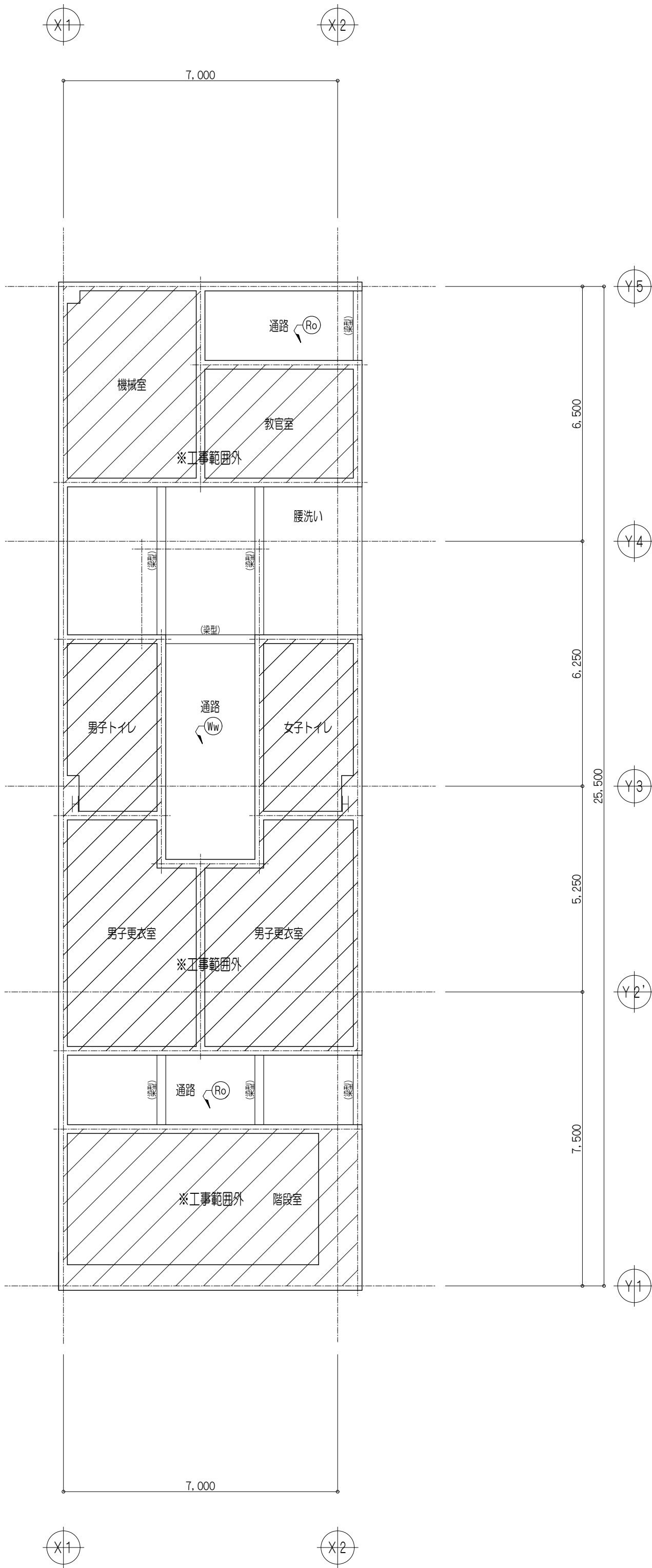
仕上げ符号は外部仕上表による

凡例、仕上表以外の事項は図示による

梁型：(Rw) ※外壁に同じ



1 階 天 井 伏 図 S=1/100



4 階 天 井 伏 図 S=1/100

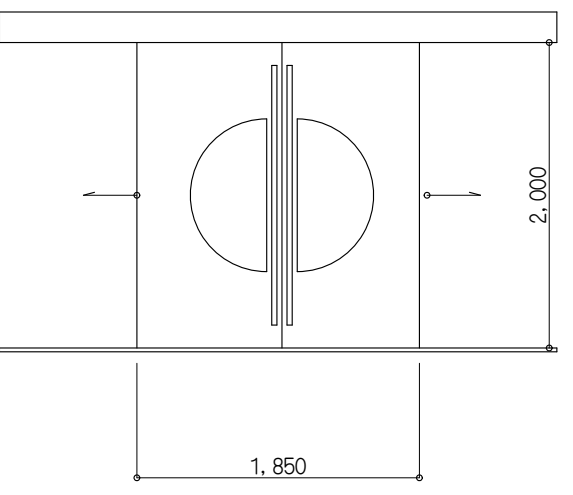
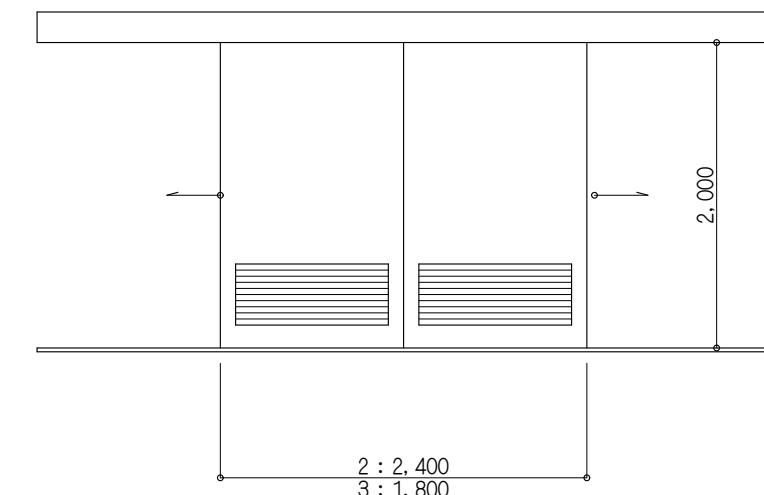
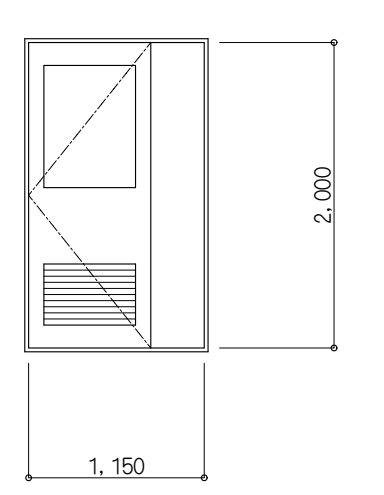
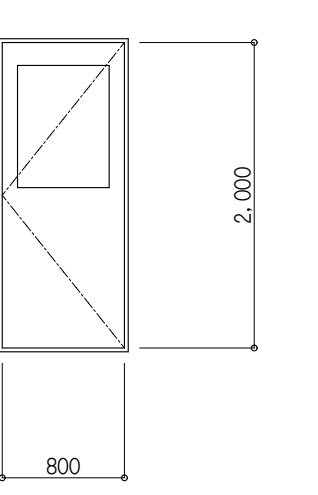
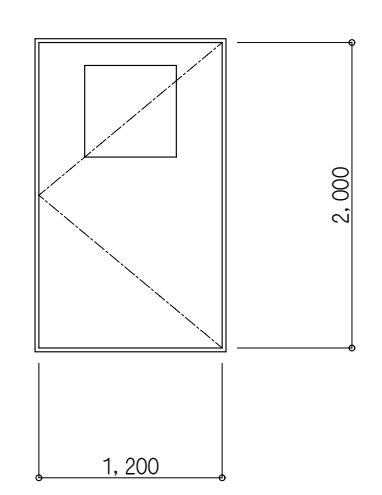
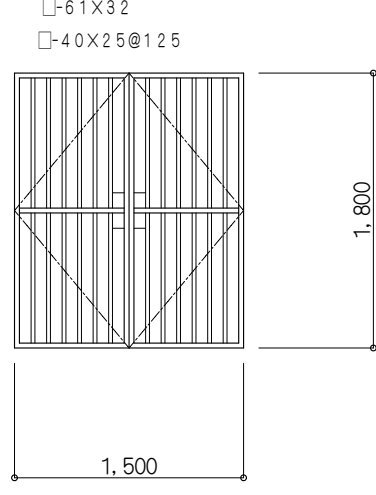
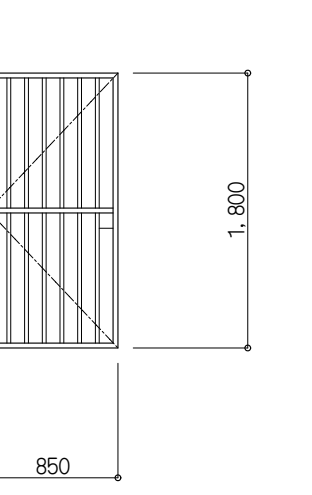
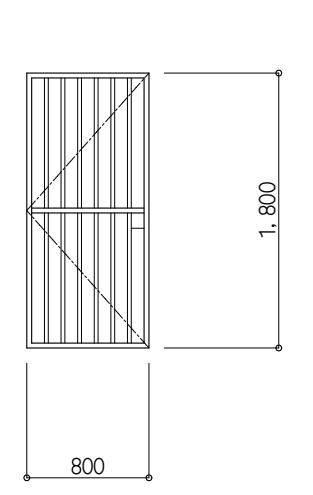
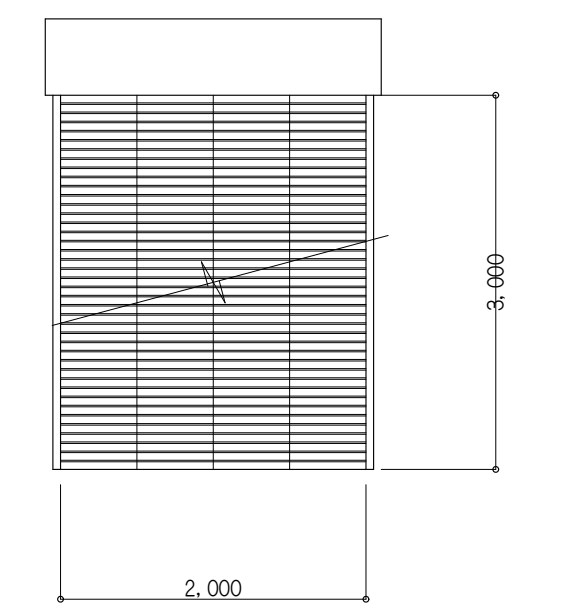
特記事項

齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

校 印	設 計	設計年月日 2025.12.20
		変更年月日

工事名称	狭山市立入間野中学校体育館外壁等改修工事
図書名称	天井伏図
Scale	S=1/100

符号・数量		$\frac{SD}{1} \times 3$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{2} \times 1$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{3} \times 1$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{4} \times 1$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{6} \times 1$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{12} \times 1$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{2} \times 1$ ヶ所	符号・数量		$\frac{SD}{3} \times 1$ ヶ所	
型	式	スチール製入りハンガー引き合せフラッシュドア	型	式	スチール製ガラリ入りハンガー引き合せフラッシュドア	型	式	スチール製鋼、ガラリ入り格子開きフラッシュドア	型	式	スチール製鋼入り片開きフラッシュドア	型	式	スチール製鋼入り片開きフラッシュドア	型	式	スチール製開き格子ドア	型	式	スチール製片開き格子ドア	型	式	スチール製片開き格子ドア	
形状・寸法																								
	取付位置	1階通路	取付位置	1階廊下	取付位置	1階通路	取付位置	1階階段	取付位置	4階階段	取付位置	4階ホール(通路)	取付位置	外部階段	取付位置	4階ホール(外部階段)	取付位置		取付位置		取付位置		取付位置	
	改修	保守、シール、ビート、DP	改修	保守、シール、DP	改修	保守、シール、ビート、DP	改修	保守、シール、ビート、DP	改修	保守、シール、ビート、DP	改修	保守、シール、ビート、DP	改修	保守	改修	保守	改修		改修		改修		改修	
備考			備考			備考			備考			備考			備考			備考			備考			
符号・数量		$\frac{SDS}{1} \times 2$ ヶ所	符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			
型	式	ステンレス製グリルシャッター	型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		
形状・寸法																								
	取付位置	1階通路	取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置		取付位置	
	改修	保守、DP	改修		改修		改修		改修		改修		改修		改修		改修		改修		改修		改修	
備考			備考			備考			備考			備考			備考			備考			備考			
符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			符号・数量			
型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		型	式		
形状・寸法			形状・寸法			形状・寸法			形状・寸法			形状・寸法			形状・寸法			形状・寸法			形状・寸法			
	取付位置			取付位置			取付位置			取付位置			取付位置			取付位置			取付位置			取付位置		
	改修			改修			改修			改修			改修			改修			改修			改修		
備考			備考			備考			備考			備考			備考			備考			備考			

改修仕様

保 守：点検調整、清掃(クリア塗装は除く)

シール：現況建具周囲シーリングを撤去し、シーリング(PU-15×15)

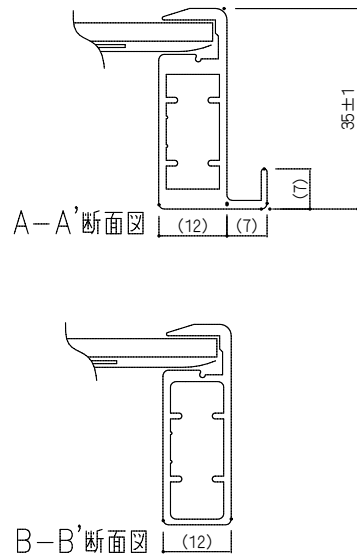
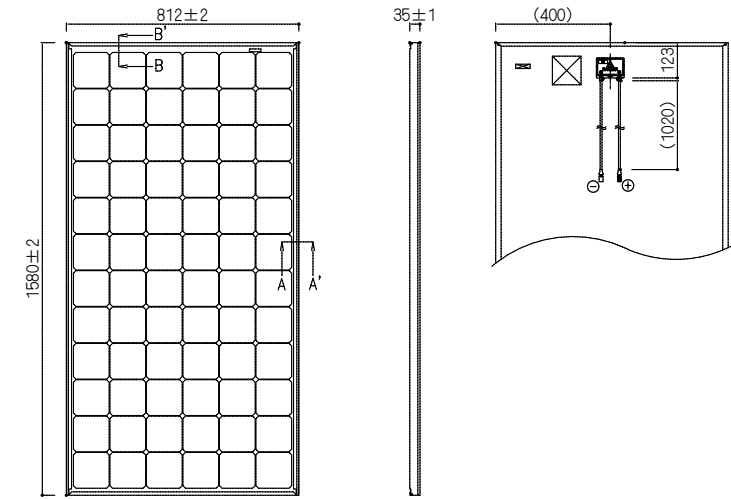
ビート：現況ガラス留めビードを撤去し、シーリング(MS-2：5×5)※外部のみ

D P：下地調整RB、錆止め塗布、DP塗

特記事項		No.	

改修仕様
保 守：点検調整、清掃(クリア塗装は除く)
シール：現況建具周囲シーリングを撤去し、シーリング(PU-15×15)
ビート：現況ガラス留めビードを撤去し、シーリング(MS-2：5×5)※外部のみ
D P：下地調整RB、錆止め塗布、DP塗

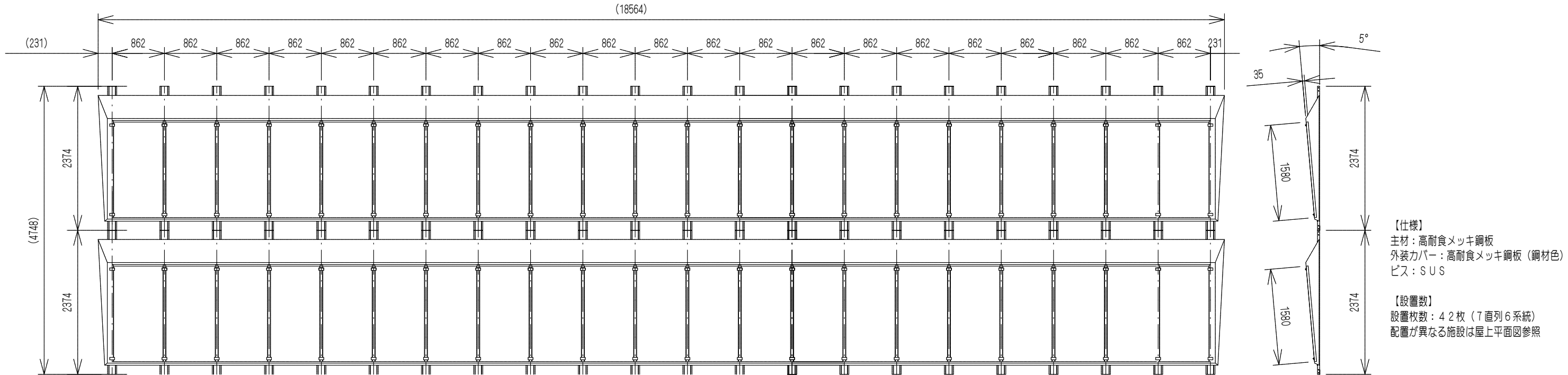
太陽電池モジュール



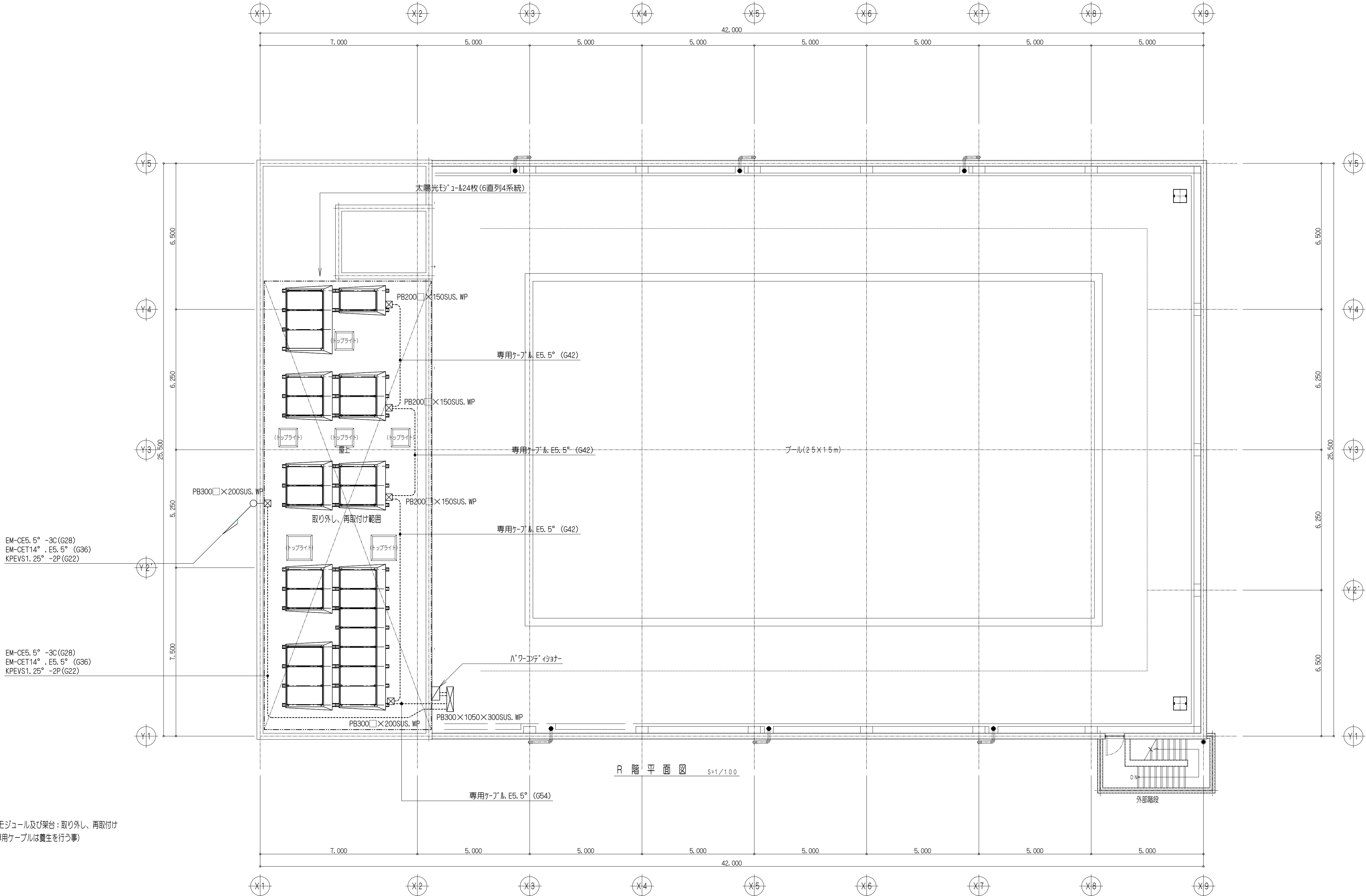
最大出力 ※ : 240.0W
開放電圧 ※ : 52.7V
短絡電流 ※ : 6.00A
最大出力動作電圧 ※ : 43.0V
最大出力動作電流 ※ : 5.59A
最大システム電圧 : 600V
使用周囲温度 : -20℃~40℃
絶縁抵抗 : 40MΩ以上 (印加電圧DC1000V)
耐電圧 : DC2200V (1分間)
外形寸法 : 1580mm×812mm×35mm
質 量 : 14.0kg

注) ※で示す特性値はJIS C 8990
に規定する基準状態での公称値を表す。
基準状態: AM1.5の全日射基準太陽光
放射照度1000W/m²
モジュール温度25℃

太陽電池モジュール架台



【仕様】
主材: 高耐食メッキ鋼板
外装カバー: 高耐食メッキ鋼板 (鋼材色)
ビス: SUS
【設置数】
設置枚数: 42枚 (7並列6系統)
配置が異なる施設は屋上平面図参照



※太陽光電池モジュール及び架台: 取り外し、再取付け
(配管及び専用ケーブルは養生を行う事)

R 階 平 面 図 S=1/100